

秘かに愉しむ変態セックス入門

著者：神田つばき
イラスト：蒼井遊美

私の妄想 かなやえでてください...

もう「マンネリ」なんて言わせない！
～女性が言えない秘密の願望～



私の妄想、
かなえてください...



はじめに

どうすれば女性をその気にさせられる？ ヒントは「妄想」にあります。

この本は、性のパートナーを探している人のために書きました。

そして、奥さんや彼女はいるけれど、性行為から遠ざかりつつある人たちのためにも書きました。そしてそして、普通のセックスでは満たされない人たちのことを考えて書きました。

世の中は性に解放的になってきているように見えるけれど、実際はどうかのかな、と疑問に思います。

メディアの中ではすごいセックスやアブノーマルなプレイのイメージが氾濫しているし、職場でも合コンでも女の子が堂々と、「私はドMだからあゝ」なんて言えるし、それはそれで楽しいことだと思うのですが、どうもイメージだけが自由になっていくような気がしてならないのです。

性がどんどん頭でっかちになっていく——「そりゃあ少子化も進むわ……」と思います。現代の若い人だって性欲はあるけれど、イメージの世界で昇華というか、消費してしまっているのではないのでしょうか。

逆に言うと、「肉体的な接触」はインフレーションを起こしているのかも知れません。現実のセックスやプレイが手に入りにくくなっているということでしょう。「出会いがない」「お相手が見つからない」という、若い人の悩みをよく聞きます。それは男性に限ったことではありません。

戦前の日本では、例えば地方の青年団のような組織の中で、先輩が後輩に具体的な性の知識を教えることが行われていたようです。私が子供の頃は高度経済成長期で、地方の若者が集団就職でたくさん東京に流入してきた時期です。彼らは会社の寮で生活することが多かったため、そこでも先輩から後輩への啓蒙があっ

たことでしよう。

人口増加がストップし、独身の若い人でもワンルームマンションで一人暮らしする時代になったのです。いろいろと我慢をして先輩と生活を共にする習慣がなくなった代わりに、「現実のセックス」を教えてくれる人がいない↓好きな子ができてもどんなアプローチをしたらいいかわからない↓とりあえず二次元に避難しよう……そんな若い人が増えているのではないのでしょうか。

セックスの仕方はAVを見ればだいたいわかります。でも、どうやって女性をその気にさせたらいいのか、はAVを見てもわかりません。男性の皆さんには、ぜひそのトークとタイミングを身につけていただきたいと思うのです。

女の子が密かに抱いている妄想（つまりオナニーのオカズです！）の代表的なものを6パターン紹介し、章ごとに「入門編」「初級編」「中級編」「上級編」と4段階の難易度に分け、トーク例を考えてみました。入門編はこれからパートナーを作る人、または交際しはじめて間もない人が、どうしたら彼女をその気にさせられるか——というトークです。彼女があなたを熱いまなざしで見つめて、「この人とエッチしてもいいかも……」と想像してくれることを目標にしています。

初級編ではすでにセックスをしたことのある彼女や、ごくノーマルなエッチしかしたことのない奥さんを、もつと積極的にさせるにはどうしたらいいか、というトークを考えます。

中級編はさらに深く感じてもらえるトークです。「セックスで感じてはいるんだけど、イッたことがないの」という女性をエクスタシーに追い上げるためのテクニクも身につくことでしよう。

上級編はよりSM的なプレイに女性を誘うトークと知識を解説しています。ご主人様として、自信を持って彼女を調教できるようになることを目指します。

最初に第一章では、女性はどうなことを妄想しているのか——というお話をしています。具体的なトークを先に知りたい人は第二章から読んでください。

エッチを教えてくれる人がいない現代において、この本が「どうやって好きな子、好きな人を口説いたらいいか」という参考書になることを心から願っています。



私の妄想、かなえてください…。
～秘かに愉しむ変態セックス入門～

C O N T E N T S

004 …はじめに

どうすれば女性をその気にさせられる？
ヒントは「妄想」にあります。

007 …第一章

妄想オナニーが止まらないんです…。

023 …第二章

私の先生になってください…。

039 …第三章

私を囚われの姫にしてください…。

055 …第四章

私のお兄ちゃんになってください…。

071 …第五章

お医者さんになって、私の体を調べてください。

093 …第六章

私の飼い主になってください…。

109 …第七章

私をあなたの人形にしてください…。

128 …あとがき

妄想の花を、心の温室で育てている
女性はたくさんいるのです。

第一章

妄想オナニーが 止まらないんです…。

女のオカズは5W1H

女性の妄想は「受け身」が基本

女性は皆、自分の体を開発してほしい願望を持っている

ピカレスク萌えは時代を問わず不変の人気

妄想を引き出すトーク術



第一章

妄想オナニーが止まらないんです…。

女のオカズは5W1H

ほんの数十年前まで、女性はオナニーしないとされていました。何となく、そういうことになっていました。男性は「精子が溜まってあふれ出てしまう」ということを一度は経験すると思います。少年時代には、何度か夢精して、そのうちオナニーで精子を出してコントロールすることを覚えます。

でも、女性にはそんな分かりやすい「性欲が満タンになった」というサインがありません。だから昔の人は「女はオナニーする必要がないだろう」と思いこんでいたのです。

現実には、オナニーをしている女性はたくさんいたはずですが、

「こんな男みたいないやらしいことをしているのは自分だけだ……」
と、人知れず悩んでいたかも知れません。

あるアンケートサイトの集計によると、女性の91%は週に一回以上のオナニーをしているということです。ほとんどの女性はオナニーをしていると思っただけでしょう。

ただ、男性と大きく違うのは、何をオカズにするかという点です。

「オナニーしたくなるきっかけ」を、女性雑誌が三〇〇人の女性に調査した結果を見てみましょう。

一位が「DVDや雑誌などでエッチなシーンを見た時」というのは、



「なくんだ、俺たち男と一緒にじゃん！」

と思うかも知れませんが、実は男と女が考える「エッチなシーン」の意味はかなり違うのです。

ツイッターの私のアカウントに、三十代の女性から「相談してもいいですか？」とダイレクトメッセージが寄せられたことがありました。

付き合い始めて三カ月になる彼のことで……。遠距離なので毎日メールのやりとりをしています。最近、彼が自分のペニスの写メを送ってきました。……しかも勃起している状態です。恥ずかしいからやめて、と言ったんですが、その後も二度送られてきました。話していて楽しいし、セックスの相性もいいと思っています。なのに、こんな性癖を知って、どうしても気持ち冷めてしまいました。もう、彼には会わないほうがいいでしょうか？

同棲、結婚も考えていて、会えば必ずセックスをしている恋人同士の二人です。二人にそれぞれ話を聞いてみると、男性はまったく悪気のない行動だったようです。

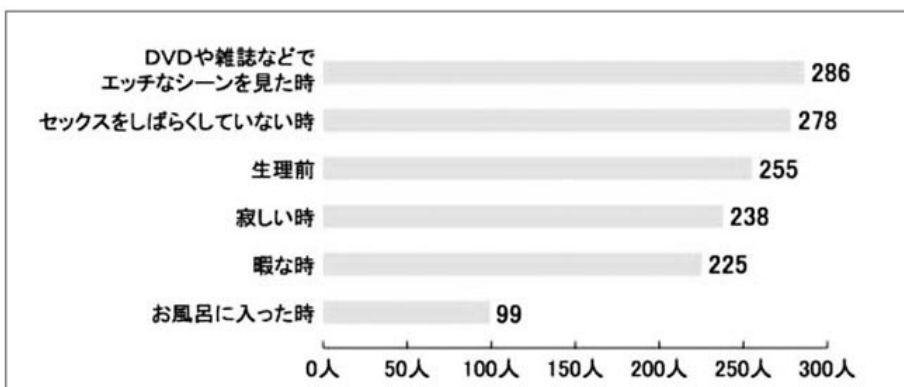
会っている時には彼のペニスを愛しそうにしゃぶり、一分でも長く自分の中に挿れてほしい……と言ってくれる彼女に、自分との濃密な時間を思い出してほしくて画像を送ってしまったということでした。でも、これは女性にはピンと来ない感覚なのです。男性は女性の体のパーツで興奮し、オナニーしますが、女性にはそういう習慣のある人は非常に少ないからです。

彼氏の顔もちゃんと入っているオールヌードなら、そんなに抵抗がなかったかも知れませんが、彼氏が送ったのは、自分のペニスだけが「どーん！」と写っている自画撮り写メでした。

女性の言う「エッチなシーン」というのは、ペニスや胸板の画像のことではなくて、「男性に何をされるか」というシチュエーション、状況のことなのです。

DVDやネットを見ていてオナニーする時、女性は主人公や女優を自分に置き換えて想像しています。

「胸毛ムクムクのワイルドな男が好き」とか「ニッカポッカを穿いて汗を垂らして働いている男が好き」と女性が言っても、胸毛だけで興奮するのか、男の汗なら誰のでもいいのか……と早合点してはいけません。



Q. 女性がオナニーしたくなるのはどういう時？（複数回答可）

その女性と親密になりたい、いずれはエッチと一緒に楽しみたい、と思うなら、

「そういう男性と、どんなことしてみたいの？」

と必ず女性に質問しましょう。まだ彼女と肉体接触をしたことがなくても、実は前戯はここから始まっています。

「ビシッとスーツを着ているのに、脱いだらワイシャツからワイルドな胸毛がのぞいて、真面目だけが取り柄の男だと思っていたのに、その胸板にギュッと押しつけられて、息ができないほど強く抱き締められたいの」

とか、

「一心不乱に仕事していた若い鳶の職人さんに、現場のブルーシートの陰でキスされて、外から通行人の声が聞こえるのに、『声出すなよ』とちよっと笑いながら立ちバックでヤッてほしいの」

とか、ドラマティックなストーリーが返ってきます。



女性も、自分がどんな妄想を持っているか興味を持ってほしいし、あれこれ質問してほしいのです。女性にとって、自分の妄想を話すのは楽しく、うれしく、そしてドキドキすることだからです。

男性のオナニーのオカズは一枚の画像かも知れないけれど、女性のそれは「5W1H」を持った「自分だけのショートストーリー」です。

遠距離恋愛の彼も、ペニスの画像をいきなり送りつけるだけではなく、

「君と逢ったときの、こんなことやあんなことを思い出していたら、こんなになってしまった」とか、「今度逢ったら、こんな状況でこんなエッチをしたいと思ってる」とか

というような言葉を伝えたら、彼女もいっしょに盛り上がったのに、と思います。

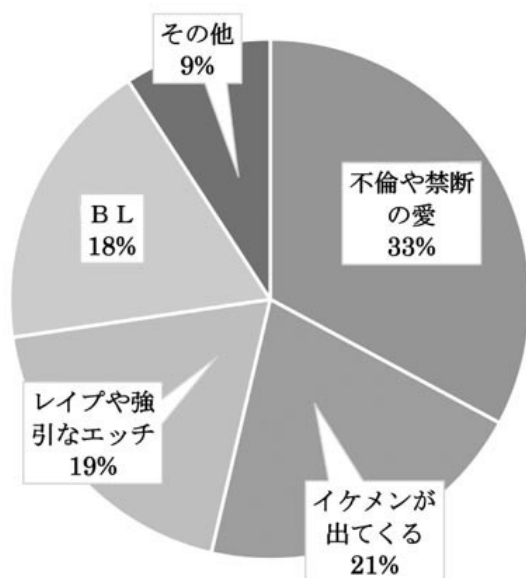
遠距離恋愛のカップルだけではありません。ふつう、どんなカップルも逢っている時間より逢えない時間のほうが長いのです。その時間に私たち女性はいろんな妄想をしています。

私たちの妄想のストーリーを知りたがってくれて、理解してくれて、実現しようとしてくれる男性……それが女性にとって最高の恋人です。少なくとも、ペニスが大きいとかお金持ちだとかよりも大切なことなのです。まずはあなたの彼女や奥さん、密かに思いを寄せている女性がどんな妄想をしているか、思いを馳せてみましょう。

女性の妄想は「受け身」が基本

女性が好む妄想のパターンを知るにはレディースコミックやケータイ小説を読んでみるといいでしょう。いきなり女性に、「オナニーの時、どんな妄想しているの？」などと質問したら、それだけで嫌われてしまいますから、一般的な傾向をリサーチしてみます。

男性向けのAVは、女性が手に入れるにはハードルが高いです。通販で買って家族に荷物を開けられてしまったら……、レンタル店で借りるのを見ていた男性に家までつけられ



Q. 女性は何をオカズにオナニーをしている？（複数回答可）

たら……という心配もありますが、「したい気分になったときにすぐ見れる」という点で、ベッドの中で寝る前に見られる、手軽なレディコミやケータイ小説が女性の「おかず」として利用されるようになりました。

まだ小さな子供二人を育てていた三十代の頃、こんなことがありました。

同じマンションの奥さんたちと仲良くなったある日、お隣の奥さんがレディースコミックの山を抱えてきました。当時はまだ携帯で漫画を読むという環境がありませんでした。

「どうしたの？ こんなにたくさん……」

「みんなで回し読みしてるのよ。新しいのを買った人はプラスして回してね」

と、5〜6冊のレディコミを貸してくれたのです。産後のセックスストレスで欲求不満ぎみだった私は、一晩で一気に読んでしまいました。

それこそ、乾いたスポンジが水を吸うような勢いだったと思います。それでも足りずに、気に入ったマンガはもう一度読み直してから次のお隣りに回しました。

……もちろん何度もオナニーをして。

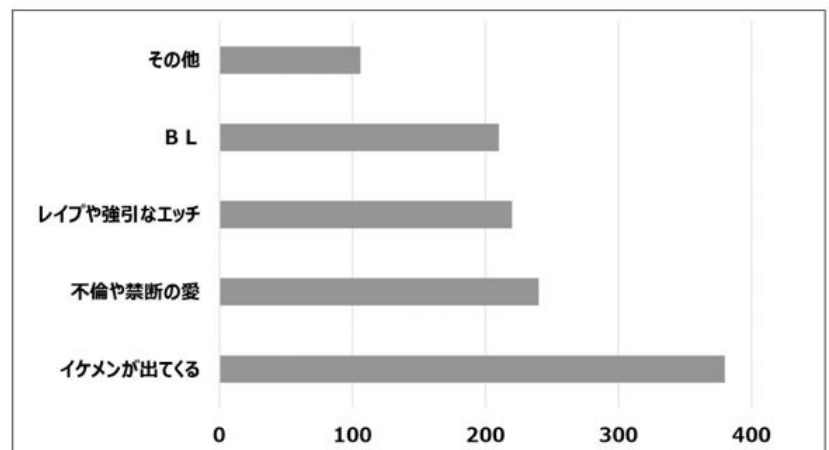
初めて読むレディコミは、想像していたよりずっとSMチックで被虐的でした。

私自身は子供の頃から、悪いヤツと戦っているのに力で負けて捕虜にされ、イヤらしいことをされてしまう自分を想像しては、「なんだかオシッコの穴が熱くなる……！」と興奮する子で、そんな自分は人と違うんじゃないか、エッチに関して異常なんじゃないか、と悩んでいました。

もちろんそんな悩みは友達にも話したことはありません。

ところがレディコミに出てくる女主人公たちは、チョイワルな男に弱みを握られたり、騙されたりして、自分の意志に反してエロい目に遭わされてしまう！「いやです、ダメです、許して、お願い」と言いながら、最後は快樂漬けにされて男の言いなりになってしまう！

これこそ、私が子供の頃から密かに憧れていた世界でした。「なんだ、みんなこういうの好きなんじゃん！」



Q. レディコミ、ケータイ小説によくあるシチュエーション

と安心しました。

少女の頃からずっと、「受け身がいいな」と思っていました。自分からアクティブにエッチに行動する自信はないし、自分の体のどこをどうしたら気持ちいいかわかっていないから、一方的に男性からいじくられ、感じさせられるストーリーが好きだったんだと思います。

多くの若い女性が最初に刺激するのは、膣ではなくクリトリスです。

「今はまだクリトリスしか感じないけど、いつか彼氏ができて、膣の中を気持ちよくしてくれるに違いない」

と、密かに期待しながらオナニーしています。未来の自分の性的な成熟には、自分の体の革命を手助け……もしくはリードしてくれる存在が必要だと、何となく思っているのです。

ケータイ小説でも事情は同じです。最近の若い女性は、寝る前にベッドの中でスマホのメールチェックをして、それからケータイ小説を読んでオナニーするという人が増えています。



『無料で読める大人のケータイ官能小説』など、素人女性が投稿しているサイトは、女性の妄想の宝庫です。このようなサイトの読者は80%以上が女性で、作家も女性が多いのです。

男性側からのどんな仕草やトークが女性の心を掴むのか、学ぶには絶好の教材です。誰でも閲覧できるのも、一般の女性が書いた作品から学んでみましょう。

このサイトでは官能小説コンテストを開催しているので、第一回のノミネート作品10タイトルの内容を分析してみました。ランキング上位の作品はそれだけ多くの女性に支持されている、女性の妄想を体現していると言えるでしょう。

統計はありませんが、日本女性の8〜9割は受け身の妄想を愉しんでいるのではないのでしょうか。私がエロライターになって以降、さまざまな女性と話した実感です。

実際にはハードSの女王様なのに、セックスを想像するときだけは受け身の自分を思い浮かべる、という人もいました。その人は「奴隷ちゃん」と呼ぶM男さんに命令して、自分を犯させたりもすると言っていました。

彼女や奥さんが受け身になれる状況を作りましょう。これまで見たこともないほど解放されて、止まらない快感に震える姿を見ることができるようです。

女性が受け身になるためには、

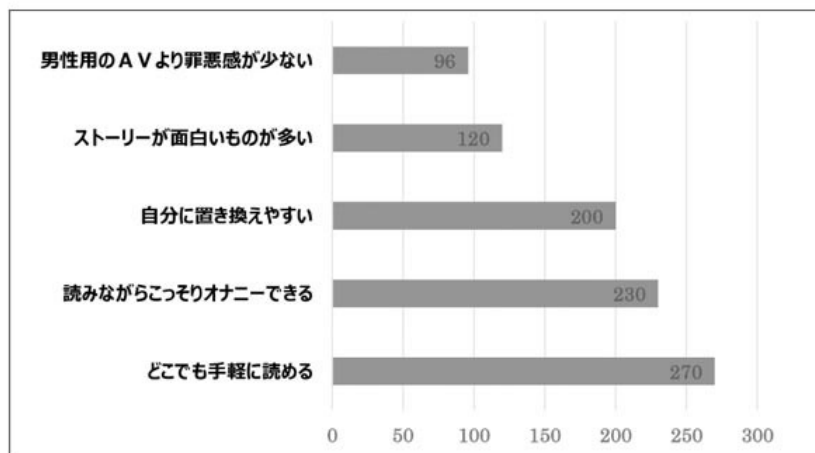
①安心して男性に身を任せられる状況

②ドキドキできるストーリー

の二つが必要です。それさえ揃っていれば、どんなに経験の少ない女性でも必ずイクことができます。

女性は皆、自分の体を開発してほしい願望を持っている

女性がセックスに関して受け身のシチュエーションを好む理由については、「社会の構造が男性主体で女性は



Q. レディコミやスマホでオナニーをする理由（複数回答可）

客体だから」というジェンダー的な指摘もあります。そうかも知れないし、それだけではないかも知れませんが、その議論は別の機会に譲るとして、それ以前にもう一つの大きな理由があると思います。

2009～2010年、私は『Ottojoyo』という若い女性向けのモバイルサイトでお悩み相談を担当していました。そのころ寄せられた相談でもっとも多かったのが、「性と体のお悩み」でした。さらに詳しく質問内容から順位をつけると、一位は「安全日の計算方法を知りたい」。そして二位は「自分のアソコは変なのではないか」というお悩みだったのです。

男性にはあり得ないことですが、多くの女性は自分の性器を見ないで大人になります。大人になっても見たことがない人はたくさんいます。

「おまんこ」という言葉を知っていても、それが自分の体のどこからどこまでを示すのかわからないのです。自分の性器を見たことがなくてもSEXできるし、出産もできてしまうのです。自分の体の大切な部位なのに……。

男性も自分の性器の大きさを気にすることはあると思いますが、そういうわけで、女性の悩みは男性より深く複雑なことが多いです。実際に十代の女性から来たお悩みを紹介します。

神田先生、こんにちは。私のアソコのことと相談します。中学ぐらいからアソコがベトベトするようになり、鏡で見たら変な色のビラビラしたものができています。これは性病ですか？

もちろん性病ではありません。大人になりかけた自分のアソコを見てショックを受けて、しなくていい心配をして、本当にかわいそうです。

二次性徴で分泌物が出るようになったのと、小陰唇が形成されただけのことなのですが、女の子にとっては驚きなのです。男の子のように毎日自分の性器を見ているわけではないので、女の子は変貌した性器がある日突然手鏡に映して見て、ショックを受けることがあります。

「こんなの自分だけかもしれない！」

と、悩んだ女の子は医学書やネットでひそかに調べます。でも、そこで見つかる性器の図は着色も適当だったり、質感（大陰唇は普通の皮膚が少し変色した感じ、小陰唇は粘膜でできていて変色も濃い場合がある）もわからないので、全然参考になりません。ただでさえ起伏が複雑な立体を図にしているので、これらと比べたら「私のアソコはおかしい!」と思ってしまうます。

何もしていないのに「性病?」と悩んでいた女の子は、本当にかわいそうだと思います。でも、そういう女の子は一人や二人ではなかったのです。自分で自分の性器を見ることができない女性にしかない悩みです。

男性ももちろん「自分の性器は小さいのではないか」「包茎を放っておいていいのか」などのお悩みはあると思います。でも、それらのお悩みはパンツを脱げば全貌が見えるお悩みで、そこが女性と違うところですね。

女性のいわゆる「性器」(クリトリス→尿道口→膣前庭→大陰唇→小陰唇)を、自分の目でつぶさに見ることは非常に難しいです。かなり無理な体勢をとり、鏡に向かって大陰唇を引っ張って、やっと見える程度でしょうか。まして小陰唇の内側、膣の内部はまったくのブラックボックスです。

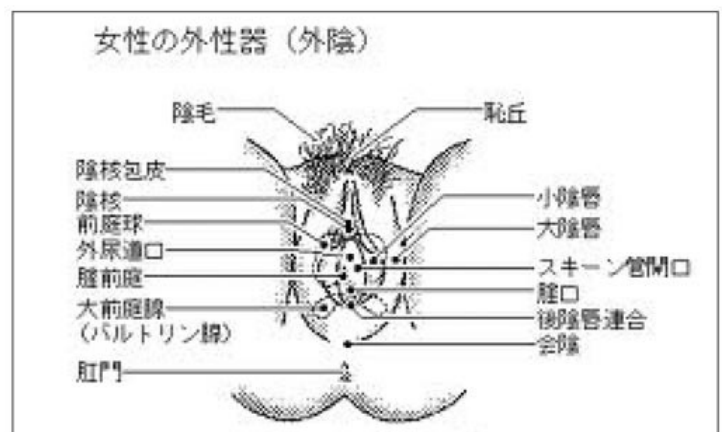
「いつかは好きな人に触れてもらう大切な場所」だと知りながら、そこをちゃんと見ることもなく、女性は大人になってしまうのです。

男性同士はプールの着替えや温泉で他人の性器が見えるので、「悩んでいたけれど、他人はこの位か」と何となく安心する機会がありますが、女性にはそんなチャンスがありません。

まして、その性器のどこをどうしたら気持ちよくなるか、ということさらにはハードルが高く、「何となくクリトリスのあたりを触っているとイク」ぐらいのオナニーで大人になっていく人が大半です。

それだけに自分以外の誰か——絶対に信頼できる人に自分の体を教えてほしい。でも、友達や母親には言えないし、見せられない。好きな男性に、どこをどうしたら感じるのか、リードしてほしい。

そんな願望が受け身の妄想に表れているのではないのでしょうか。あなたの彼女や奥さんも、自分の性器の全貌



は知らないかもしれません。

「自分の性器に指を入れて触ったこと、ある?」

「自分のアソコをちゃんと見たこと、ある?」

と質問してあげるといいかも知れません。最初は恥ずかしさから、
「そんなことするわけじゃない!」

という答えが返ってくるかも知れませんが、まずは彼女の性器の良さを教えてあげるような優しい気持ちでリードしましょう。

それによって、彼女はあなたを今以上に信頼するようになります。あなたの前で体を開くことが、自分を肯定してもらええる良い時間になるからです。

ここで必ず男性が言わなければいけないことが二つあります。一つは、「君の性器はとても綺麗だよ」ということ。もう一つは、「君の体はもっと感じるようになるよ」ということ。

女性が言っただけのセリフはこの二つです。どんなに顔や服を褒めてくれたって、誰にも見せたことのない秘密の部分褒めてくれない男性を愛することはできません。体をほめてくれて、気に入ってくれて、どんどん気持ちよくさせてくれる男性の言うことは、女性は絶対に受け入れたいと思うものです。

ぜひ、あなたの奥さんや彼女の性器を再開発してあげてください。その時、どんな役割を演じるか——彼女の先生になるか、お医者さんになるか、



略奪者や海賊になるか、可愛いペットの飼い主になるか——彼女の妄想の世界で何らかの役割を演じてあげれば、二人のセックスは最高に盛り上がるでしょう。

ポイントはあなたがリードする側に、彼女が受け身になれるストーリーを演出することです。

ピカレスク萌えは時代を問わず不変の人気

女性に人気のテレビアニメのストーリーパターンに、「女一人VS男複数」というのがあります。昔から少女漫画によくある設定です。

女マネージャーと運動部全員とか、急に引き取られた家に男兄弟がいっぱい、という逆ハーレムパターンです。この男複数の中には、必ず一人は「陰のある男」がいて、これが女の子の一番人気をさらっていることが多いです。

また、最初は「魔王」だったり「犯人」だったりして傲慢に振る舞うのに、女性の愛情で変化が兆し、その女性（＝自分自身）にだけは愛情を注ぐ、という「美女と野獣」パターンも人気です。

いずれにしても、その男は誰にでも愛想のいい学級委員長ではダメなのです。現実はともかく、妄想で女性が濡れるのは、むしろ陰のある不良だったり、謎の多い転校生だったりします。そうは言っても、実際に「不良な」行動をとると女性は怒ったりするので、男性にとっては「おいおい、どうしろって言うんだよ……」というところですよ。

女性の前で男性がワルを演出するのは、SEXの時間だけでいいのです。むしろ、ふだんは真面目で信頼されている男性が、ベッドの中でだけ、自分の前でだけドSになったり、フェティッシュなSEXに溺れたりする……そこに女性のツボがあります。

少女であっても熟年女性であっても、安全で安心できる環境を作ってあげないと、女性は心と体を解放できません。だから男性は苦心して、自分を信用してもらおうとするし、収入を得て家庭を作ってあげようとまで

するのです。

ところが、いったん心と体を許してしまい、二人の間の平和な環境に慣れてしまうと、なんだか物足りなさを感じはじめます。ちょっと忘れていたピカレスク萌えを思い出し、

「それにひきかえ、私の夫はつまらないぐらい平凡だ」

と思うようになります。夫側は「たまには……」とSEXを持ちかけたりしますが、

「子供もいるのに今さらSEXなんて。もういいわよ」

と冷たい笑いを浮かべたりする奥さんもいます。悪気はないのですが、日々の暮らしを頑張る中で、女を出すキツカケが見つからなくなってしまうのです。

恋愛して、親の目を盗んでSEXして結婚したはずの夫なのに、いつの間にか「安定した生活のパートナー」になってしまい、「男と女」という大切な一人の鍵をどこかに紛失してしまっているのです。

「いいからジツとしてろよ。俺が抱きたいんだよ」

たまには強引な男になって、奥さんを押し倒してもいいかも知れません。

「洪水じゃん。イヤがってるくせに濡れちゃうんだ」

ふだん言わないような、ちよつと下品な言い方で彼女をドキドキさせてもいいかも知れません。きっと何かが変わるでしょう。大切な鍵のありかを、ふと思いつくかも知れません。

ただ、それでも相手が乗ってこない場合、白けてしまったり、

「何なのよ、急に」

と拒絶される可能性もあります。その場合もスツと収めて、何事もなかったように元に戻るアクションが必要です。

いきなり縄を持ってきて奥さんを裸に剥いてしまつて、もし引かれてしまつたら、もう元には戻れません。平和と信頼が支配する家庭の中で、いきなりの性行動はテロ行為になるかも知れないのです。

でも、普段はしない「壁ドン」だったり、彼女の手首を（あたかも縛つたように）一つに重ねてシーツに押しさえつけるぐらいだったらどうでしょう？ 自然な興奮を誘えるのではないのでしょうか。

そこで女性が期待するセリフは何でしょうか？ ここは匙加減の要るところです。

「縛られたいと思ったことある？」
では身構えてしまうかも知れない、
でも、

「本当に縛っているみたいだね」
ならOKかも知れないし、

「ほら、もう動けないよ」
と暗示をかけてSEXするのも楽
しいかも知れません。

二人が男と女に戻る鍵を見つける
ためには、ぜひともトーク術が必要
です。

それが、女性が心に秘めた妄想に
アクセスするようなトークだったら、
きっと二人の関係は変わるでしょう。
新婚の頃のようにドキドキして、で
もその頃よりはずっと大人に、マニ
アックな妄想も今の二人なら実現で
きるはずです。

セクシーな関係に二度と戻れなくても、無事に夫婦として生涯を終えることはできます。また、子供の教育や親の介護、転職や起業でそれどころではない時期もあるでしょう。

でも、結婚していても、非婚カップルであっても、最後はまた二人に戻ります。二人きりになって、限られた財産と衰えていく肉体で助け合って暮らしていくのです。その時、男と女に戻る鍵が失われたままでは、ただの同居人になってしまうような気がします。



何年も何十年もセックスレスでいて、どちらかが動けなくなり、本当に久しぶりにパートナーの裸体を見る——というご夫婦も、実は少なくないです。一方で、毎日いっしょにお風呂に入るといふご夫婦もいます。どちらがより良い晩年を迎えられるか、ちょっと想像してみてください。

挿入行為としてのSEXを続けることだけが良いとは思いません。そうではなくて、お互いを異性として見る瞬間は、ないよりあったほうが、ずっとずっといい時間を過ごせると思うのです。

そこから本当の親しみと尊重が生まれてくるのではないのでしょうか。

すでに同棲や結婚をしていて、少しずつ男と女の緊張感が希薄になっている人に向けてお話ししましたが、この本はこれからパートナーを見つけない人のための本でもあります。

「これまでの恋愛はちょっと物足りない部分があった」

「告白して、デートして、SEXして。それだけじゃない刺激的なエッチがしたかったのに、どうしてもそういう雰囲気にならなかった」

そんな思いを抱えている男性にこそ、女性がなかなか打ち明けない妄想を知ってほしいと思います。まだ見ぬ彼女の妄想の、最初の理解者になり、たった一人の「現実にするパートナー」になってあげてください。

妄想を引き出すトーク術

次の章からは実際に使えるトークを学んでいきます。

エッチのトークも営業トークと同じです。営業で最終的に得るものは契約であり、金銭ですが、ここでは彼女とさまざまな（例えばSMであるとか、露出とかスワッピングとか）エッチのできる関係になることがゴールです。そのためには、

- ①彼女があなたを信頼する。
- ②彼女があなたに、これまで誰にも言えなかった妄想を打ち明け、精神的に満足する。
- ③あなたから質問されたり、新しいプレイを提案されることで、これまで知らなかった快楽を期待する。
- ④実際にあなたと二人でその快楽を得る。
……という流れを作っていきます。

事務機器や工具のセールスと同じなのです。お客様があなたから商品を購入するまでには、

- ・商品知識があつて、安全管理も熟知した営業だな、とあなたを評価する。
 - ・「実は今こんな問題点があつて……」とあなたに相談する。
 - ・あなたからお客様に質問することで、問題点や商品導入後のメリットを意識させる。
 - ・そして契約……。
- という流れがあると思います。男女の関係も同じです。

彼女の体をよく知っていて、避妊やプレイの安全面に気を配ってくれる男性に、安心して身を任せたい。自分の体のコンプレックスや体調の相談を解決してほしい。友達には言えないようなエッチな話もできて、未知のプレイも「やってみたいな」と思わせてくれる。そんな人とエッチしたいな……というのが女性の本音です。誰にも言えなかった妄想を言葉にすることで、彼女にとってあなたは特別な存在になっていきます。心に秘めてきた秘密を人に吐露するだけで、人間は快感を得るからです。

二人の結びつきを強くし、未知のスリリングなプレイができるようになるための具体的なトークを学んできましょう。第二章から第七章まで、女性の妄想に登場しそうな六つの役割を考えて書きました。

彼女や奥さんの妄想にピタっとはまるシチュエーション、そしてあなた自身が未知の興奮にドキドキできるトークをぜひ見つけてほしいと願っています。

第二章

私の先生に なってください…。

例文① 入門編「先生を好きになったことある？」

例文② 初級編「嫌いな先生もいた？」

例文③ 中級編「君には今でも先生が必要だよね…」

例文④ 中級編「君の先生になって厳しく指導してあげる…」

例文⑤ 中級編「今日は僕の先生になってよ」

例文⑥ 上級編「ほら、他の子に負けちゃうよ」

例文⑦ 上級編「連帯責任だ。全員ができるまで帰れないぞ」



第二章

私の先生になってください…。



例文① 入門編 「先生を好きになつたことある？」

妄想プレイの入門にピッタリなのが「先生と生徒」のロールプレイです。

男女を問わず誰だって、学生時代の思い出には性のめざめや初恋など、ドキドキする記憶が必ずあります。まだセックスを知らない少女の頃に、先生に思いを寄せていた女性は少なくないでしょう。先生とキスしたり、抱き締められたり……という想像をすることもあつたかも知れません。

最初の妄想プレイですから、彼女の思い出を引き出す練習として、先生を好きになつたことがあるか聞いてみましょう。

この本を手にとってくれたあなたは、ふだんのSEXとは少し違うエッチをしたいと思つている人だと思えます。それは、女性が一人で妄想している世界に近いプレイだったり、ラブだったりするかも知れません。

「アブノーマルなんだね」

「SMしたいんだ？」

と男性に言われたら、決めつけられたような気がして、女性はちょっと用心してしまうような気がします。あくまで被虐的な妄想のプレイ、いつもより深いエッチ、というふうに考えていきましょう。

この本を読んだ男性の皆さんが、女の人から「私もしたい」「それだったらしてもいいかも」と思ってもらえるトークを身につけてくれたらとてもうれしいです。女性の皆さんも、「こんな話題を振れば、自分の妄想を話せるかも」というキツカケをつかんでもらえたらうれしいです。

理屈っぽいお話では退屈だと思うので、「こんなふうにアプローチしてみたらどうかな」というショートストーリーにしてみました。

女性から妄想を引き出すコツとしては、あえて「妄想」という言葉を使わないことです。性的なことを聞かれる、エロい話をさせられる、と女性に意識させないように気をつけましょう。あくまで女性の好きなように自由に話をさせながら、いいところでフツとエッチな気分を出す——そのタイミングをつかんでください。

最初は、付き合い始めて三カ月ぐらいのカップルのお話です。あなたと、あなたの好きなあの人に置き換えて読んでくださいね。

美紗の高校時代の話を聞くのは初めてだった。女子校だったということも今知った。

「彼氏ができたのは大学に入ってからよ。だって、女子校だったんだもん」

ふーん、そんなものなのか。女子校生だって、学校帰りに遊びに行ったりして彼氏を作るんじゃないのか。美紗は意外に純情で真面目な子だったのかな。



「好きな男もいなかったの？」

「うん、そうだよ」

「先生を好きになったりは？」

「あつ、それはある。二年のときの化学の先生。三十歳くらいで独身だったの」

美紗は急におしゃべりになって、化学の教師が銀縁メガネの似合う男だった、などといつまでも話していた。

彼女が先生をオカズにオナニーしていたかどうか、はわかりません。好感を抱いていたことだけで充分です。少女の頃に好きだった先生の面影を思い描かせながら、ゆっくりとエッチな雰囲気を持っていきます。

「告白しなかったの？ 先生に」

意外とオクテなんだよな、美紗って。絶対に自分から告白なんかできるタイプじゃない。そこを突いてみる。

「えっ、そんなのしないよー。だって先生だもん」

「先生と生徒だって結婚したりするじゃん。美紗が好きですって言ったらどうなったかなあ」

「うーん……どうなってたかなあ」

ちよつと夢見るような目つき。妄想してるのか？ 肩にかかる髪の毛先を、無意識に指に巻きつけてカールしている。何かに夢中になっているときの美紗のクセだよな。

「好きですって告白してみてよ。僕を、先生だと思って」

「えー、今？ なんで？」

「なんかさ、高校時代の美紗はどんな子だったのかなと思って。知りたいじゃん？」

美紗は照れて笑っている。僕は勝手に先生になりきって、ぶっきらぼうに言ってみた。

「どうした、岩井？」

すると美紗も気分が出たのか、

「先生、お話が……あるんです」

と、高校生になりきって小さな声で言う。もっとドキドキしてほしくて、僕はわざと美紗の正面に向かい

合って座り、美紗の顔を真っ直ぐ見つめる。教師が面談でやるみたいに。

せっかく彼女に「先生が好き」というセリフを言わせたので、力ずくの行為には持つて行かないほうがいいでしょう。女性は「静かに・冷たく・なぶりながら」犯されるほうが興奮するようです。

醒めたような静かな声で、あくまで冷静に女の子を追いつめていきます。急にそんなことをするのは照れ臭いかも知れませんが、「先生」という役柄ならば自然にできると思います。

「妄想プレイ」は女の子の妄想を借りて、マンネリになりがちな二人のエッチに新しいテイストを加える工夫でもあるのです。

「岩井は成績が落ちたな。好きな男がいるのか？」

「そんな……」

想定外のセリフにうつむいてしまった。本当に高校生みたいだ。

「相手は高校生か？」

美紗は僕から目を逸らしたまま言う。すっかりロールプレイに入りこんでいる。

「ちがいます……私が好きなのは……先生です」

ここで、「美紗、演技うまい」とでも言えば大笑いになるだろう。それはそれで楽しいけれど、せっかくロールプレイに付き合ってくれたんだから、俺ももつと悪い教師になってみようか。

美紗が背にしている壁にドンと手を突き、美紗の顔を覗きこむ。驚いたような顔をしているのがたまらない。

「岩井、お前、自分の言ってる意味、わかっているの？」

「えっ……意味って……」

「簡単に『好き』なんて言っちゃダメだよ」

美紗のあごを指で支えて顔を上げさせる。目と目が合う。お芝居なのに、美紗は目を潤ませている。何か言わなくちゃ、という感じに開いた美紗の唇を僕の口でふさぐ。いったん口を離し、わざと、

「岩井……」

と、苗字で呼んでみる。もう一度、長いキス。美紗はいつもより濡れているかも知れない。早く確かめた。唇をつけたまま、その場にそっと美紗を押し倒していく。

第一章でお話した、女性が好きな「壁ドン」を早速やってみました。「壁ドン」ではなくても、要は「その場の空気を一変させてエッチなムードに変える」ことができれば何でもいいのです。いきなり胸を揉んでレイププレイに行っても一変はしますが、「どっかで見たような展開」「AVの見すぎじゃないの？」と、女性が引いてしまう可能性もあります。

「先生のこと思い出して濡れちゃった？」

と、恥ずかしい思いをさせるような言い方で、言葉責めしてみましよう。

もちろん、実際にはこの小説のように彼女が芝居に付き合ってくれるとは限りませんよね。照れ隠しに笑ってしまいかも知れません。その場合はいつものエッチになだれこんでしまっていていいと思います。

それでも、彼女が思い出した「昔好きだった先生」の存在をチラチラさせることで、いつもより盛り上がるでしょう。

僕の動きが速くなったのを感じると、美紗はいつものように僕の腰に脚をからめてきた。二人の茂みが密着して、美紗のクリトリスが僕の恥骨に擦りつけられている。

「ああ、もうイキそうだよ」

「私も……」

いつもなら、このまま二人で目に見えない階段を駆け上るんだけど、少し意地悪を言ってみようかな。

「先生、イキますって言ってイクんだよ」

「いやあ……そんな……」

「ダメだよ、言わなきゃ。先生って言わないと抜いちゃうよ」

「あん、だめっ……」

優しい美紗はイキそうな僕を包み込んだまま、他の男の名前を言っていないのか迷っている。促すように強

く、激しく美紗を突く。さつきより濡れている。もう充分なのにまだ濡れてくる。

「言って……言いなさい、美紗」

「せ、先生……イキます……！ イクっ……！」

僕以外の男の名前を呼んでイク美紗を見るのは初めてだった。すごく恥ずかしそうにするのが新鮮で、僕は美紗の顔を見ながらいっぱい出してしまった。

長く交際していると、お互いにエッチの時の反応もわかっていて、安心しすぎた関係になってしまっていることがあります。関係が安定するのは良いことですが、セックスがマンネリになっていくのに気づかなかつたりします。

「仲はいいのにセックスストレス」という状態が続くと、なかなか元の情熱的な関係に戻りにくくなります。

そんな時、記憶や想像力を刺激すると、いつもとちがう反応が見られたり、感じ方も変わります。

学生時代に好きな先生がいた、たったこれだけの会話から、いつものエッチを刺激的にすることができそうですね。先生以外では、初恋の男の子の名前を言わせてSEXするのもいいでしょう。妄想はもともと一人でするものですが、二人ですること興奮が高まります。それだけエッチの内容も豊かになって、彼女はあなたから離れられなくなると思います。

例文② 初級編 「嫌いな先生もいた？」

「今の彼女とSM的な関係に進みたい」

「彼女にマゾっ気があるか知りたい」

そんな時も、ぜひ「先生プレイ」を試してみてください。女性にとって「先生」は特別な存在です。父親に命令されたり、叱られたりするのはいやだと思っている人も、好きな先生にそうされるのはドキドキして嬉し

かったりします。

ここではあえて嫌いな先生に意地悪されるシチュエーションを考えてみます。先生と生徒、という命令関係で初めてのソフトなSMを楽しみましょう。また、さっきの「僕」と「美紗」に登場してもらいましょう。

「嫌いな先生もいた？」

「うん、いた……。数学の教師なんだけど、スカートが短いとか遅刻が多いとか、何でもチェックしてくるの」

「その先生、美紗のこと好きだったのかも知れないよ」

「えっ、それはないと思う……。ほんつとに意地悪だったんだから」

「美紗の困った顔が見たいんだよ。男ってそういうのがあるんだよ」

皆が皆そういうわけじゃない、と思う。美紗の困った顔、ベソかいてる顔が見たいのは、ほかならぬ僕なのだ。

「美紗も悪いんだよ、短いスカート履いてたんじゃないか？ 検査するよ、ほら立って」

「ええっ、なにに？ やだ〜」

グズグズ言っている美紗の腕をとって立たせ、「手は横！」と号令をかける。美紗は真面目な中学生みたくにまっすぐ前を向いて立った。

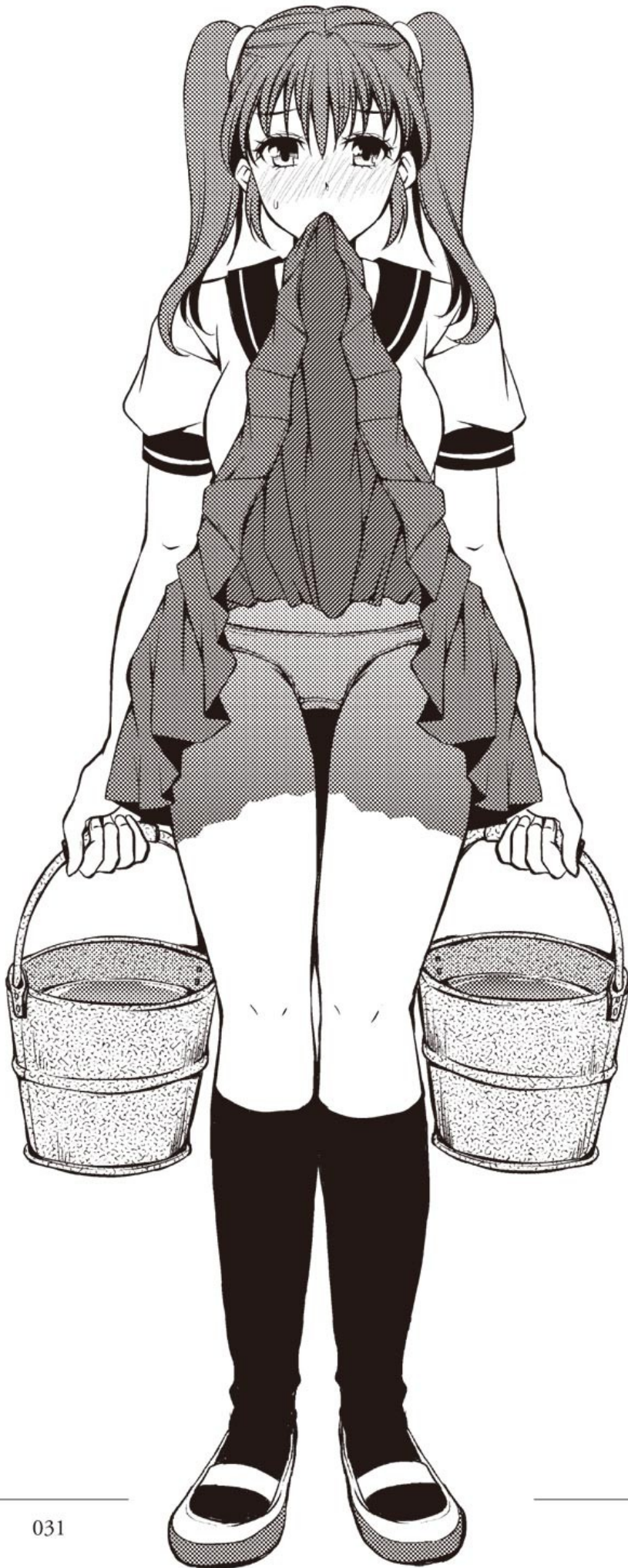
先生と生徒のロールプレイと言いましたが、「今から僕が先生で、美紗が生徒だからね」などと宣言しなくてもいいのです。「手は横！」とか「前を向いて背筋を伸ばす！」とか、号令をかけるだけで先生と生徒の雰囲気になります。

「持ち物検査」「服装検査」も、彼女の興奮を誘うシチュエーションです。

「今日は新しい下着つけていくね」

などとメールが来た日は、ぜひ服装検査をして、彼女の勝負下着を見てあげましょう。

美紗のスカートを持ち上げると、これまで見たことのない紐パンを穿いていた！ 今日、僕に見せたくてセクシーなのを穿いてきたと思うとグッと来てしまう。美紗のすんなりした太腿を、ピタピタと右手で叩く。



「岩井、学校にこんなもの穿いてくるなんて、どういうつもりなんだ？」

「先生、やめて……」

美紗もすっかりその気だ。いつもならすぐふざけるのに、なんだか真剣な顔になって目を閉じて……僕が罰を与えるのを待っているのかな。ああ、どうしよう。何て言われたのかな、美紗は……。

「脱ぎなさい」

「えっ……」

「没収だ。帰りまで先生が預かっておく」

美紗は悲しいのと恥ずかしいのが入り交じった表情で、壁のほうを向いて紐パンを脱ぎ、顔をそむけたまま僕に手渡してきた。何だか頬を赤くしている。僕はもう先生の役を忘れて、思わず聞いてしまった。

「美紗、赤くなってる。いつもエッチしているのに、どうしたの？」

「だってこんな、恥ずかしいよ。私だけ脱ぐなんて……」

赤くなった顔を隠すように、僕の胸にぶつかると、しがみついて来た。

こんなふうに男性から妄想に誘って、二人で妄想プレイを楽しめば、いつも以上にドキドキするSEXになることは間違いないです。ここでさらに彼女のM性を開発したければ、

「学校にエッチなパンティー穿いてきたお仕置きをしなくちゃね」

と、スパンキングしてもいいでしょう。

初めてのスパンキングで気をつけてほしいのは、

- ① 決して「パツチーン！」と振り抜かないこと
- ② ペチヨペチヨといつまでも乱打しないこと
- ③ 五本の指をなるべく広げて、「バンッ！」とヒップの丸みに当てるイメージで
- ④ 尾てい骨を打たないこと
- ⑤ 同じ箇所を続けて打たないこと

自分のお尻でやってみると、振り抜きや骨打ちがどんなに痛いかわかります。かと言って、打楽器で遊ぶようにペチヨペチヨやられると、女性は気が散ったり、情性で叩かれているような気がしたりして、エッチに集中できにくくなるのです。

無防備にヒップを晒している女性からは男性が見えませんが、いつ打たれるかとドキドキしながら、女性は神経をヒップに集中するので、とても感じやすくなります。一発一発に気持ちをごめてスパンキングしましょう。

彼女が慣れてきて、スパンキングで興奮してきたら、「バンッ！」と置いた手でヒップの丸みを撫でてみましょう。この時、力を抜いてフワフワ撫でると、打たれたところがかえって痛くなります。一瞬とまった血流が一気に戻るとチリチリと痛いので、当てた手の力を抜かずにグググッと撫でてあげると、痛みから何とも言え

ない気持ちよさに変わります。

彼女が興奮のため息をもらしたら、二発、三発と叩いてもいいかも知れませんが、一つのところを打ち続けられると本当に痛くて、「スパニング嫌い！二度とやらないでねっ！」と言われてしまうかも知れません。これも自分の体でやってみるとわかると思いますが、打つ場所を変えると最初に叩かれた場所の痛みを感じにくくなるのです。

ちよつと上級テクですが、連打に慣れて女性が身構えているときに、あえて打たないのも手です。

女性は「あれ？」と思いますが、そこでスパニングの代りにヒップを爪でカリカリ……と愛撫します。ぶたれて火照った肌に軽い刺激が重なって、女性は思わず声をあげるでしょう。

スパニングは女性を叩きのめすためにやるのではなく、あくまで興奮を高めるためです。彼女があなたのスパニングを好きになり、それだけで濡れるようになってくれたらうれしいですね。

例文③ 中級編 「君には今でも先生が必要だよね…」

ほとんどの女性は「庇護されたい」「可愛がられたい」という願望を持っています。

男性に引けをとらずに仕事をし、同性から頼られているような女性もそうです。いいえ、そういう女性ほど、「りたい願望」は強いかも知れません。

もしあなたの好きな女性が「自立した頼られるタイプ」だとしたら、ぜひ先生と生徒プレイをやってみましょう。そうは言っても「甘えてごらん」「可愛がつてあげる」といきなり言われては女性も戸惑います。ふだんのSEXの中で、いい意味で上から目線の言葉をかけてみてください。例えば、

「どこが感じるの？」

と聞くのはあまりにも普通ですが、

「ここをどうされるのがいいのかな。こうかな？ それとも……」

と、まるで体の反応を実験するかのようにタッチされたり、

「動かないで。感じるところを調べているんだから」

と命令されたりすると興奮する女性は多いです。

自分はMだと思っていない女性、Mだと思われたくない女性でも、「自分の体を他人にゆだねる感覚」はとても気持ちいいものなのです。

「君には今でも先生が必要だよね……もっと教えてあげるよ、君の体の秘密」
というふうにM性を刺激してあげましょう。

例文④ 中級編 「君の先生になって厳しく指導してあげる…」

もっと手っ取り早く、彼女にM性を自覚させる魔法のトークがあります。それは、

「君にはちゃんと管理してくれる人が必要だよ」

という言葉です。ふだん頼られるキャラクターの女性や、恥ずかしがりで自分からエロくなれない女性も、この言葉でガクッとくずおれるように自分をゆだねてきます。

もちろん仕事や家事に関係したことを言っただけじゃありませんよ、女性のプライドを傷つけてしまいますから。あくまで性的なことに関してだけ使えるセリフです。

僕の胸に頬を押しつけてジツとしている美紗は、「抱いてほしいな」のひとことが言えないでいる。もう何度もセックスしているのに、求める言葉を言うのが恥ずかしいのだろう。

僕は「わかっているよ」という気持ちをこめて、その場にそっと美紗を寝かせ、ゆっくりスカートの中に入れていった。美紗は「ああ……」とため息をついて目を閉じた。もちろんそこは濡れているに決まっているけど、僕はわざと聞く。

「美紗、濡れてる?」

美紗は首を横に振る。僕はパンティの中に指を入れ、音を立てて蜜をかき混ぜる。ぴちゃ、ぴちゃ……。

僕はこの音が好きなのに、美紗は恥ずかしさで真っ赤だ。「美紗は自分が濡れているのもわからないの?」

声も出さずに美紗はうなずく。

「何にもわからない美紗には、きちんと体を管理してくれる人が必要だね」

美紗はますます強く僕にしがみついていた。

「管理される」という妄想は、女性に人気のコミックスやケータイ小説にたびたび出てきます。彼女との関係を一步進めて、SM的な関係に変えることのできる言葉だと思います。



例文⑤ 中級編 「今日は僕の先生になってよ」

先生と生徒プレイには男女逆のパターンもあります。

よくAVにある設定で、男子校の女教師に生徒がセクハラする、というシチュエーションです。

たまたま彼女が本を買ってきたときなどに、「朗読して」とお願いします。本を読んでもくれている彼女に背後からタッチ。「先生のつもりでちゃんと読んでよ」と言いながら、セクハラをエスカレートさせていきます。

妄想プレイは女性が白けてしまったら、すぐにやめたほうがいいです。白けながらロールプレイに付き合うのは、女性にとって「疲れた」という感想しか残らないからです。逆にノッているな、と感じたらどんどんエスカレートさせていきます。ノッているかどうか知る方法は、やはり濡れているかどうかを調べることでしょう。

例文⑥ 上級編 「ほら、他の子に負けちゃうよ」

先生と生徒プレイの上級編は、複数プレイでの使い方です。

複数プレイを楽しむコツとしては、最初にホストとゲストをあなたの中で決めておくことです。

より親しいほう、過去に多くプレイしているほう、今回の複数プレイに意欲的なほう、プレイ後の時間を一緒に過ごすほうの女性をホスト側にします。

基本的にホスト側の女性は「できない子」の役です。ゲスト側の女性をまず先にイカせます。ホスト側の女性には「見学していなさい」と言って、ゲストがイクのをたっぷり見せつけます。

もちろんホストも放置してはいけません（放置プレイと放置は違います）。見学させる間、縛りつけておくとか、

ローターを装着させておくとか、興奮を高める工夫をします。

ゲストがイクのを見てホストが嫉妬しはじめたら、

「本当はお前がしてもらおうはずだったんだよな？」

と、言葉で責めます。

「私にも同じことをしてください、私もイカせてください……」

嫉妬にあおられて、ホストは普段より激しいアクメを感じてくれることでしょう。

いったんイッてもやめないで、

「ほらほら、負けちゃうぞ。転校生はもっと大きな声出してイッてたぞ」

などと、複数回イカせてあげるといいでしょう。

女性二人の複数プレイはうっかりするとお別れの原因にもなるリスクなプレイですが、男性側がちよっと神経を使ってプレイを組み立てれば、二人の結束が強くなることもあるのです。



例文⑦ 上級編 「連帯責任だ。全員ができるまで帰れないぞ」

複数プレイをする決まった相手というかメンバーがいる場合は、女性同士の気心も知れているので、二人を一度に服従させるようなシチュエーションも可能です。その中でも特にSM度が高いのが連帯責任プレイです。「フェラチオでイカせられなかった」「アナルプレイができなかった」など、きつかけはいろいろ考えられると思います。「できない子」の責任を「できる子」にも一緒にとらせる、という展開で、どちらの子も置いてきぼりにならないようにできる良さもあります。

例えばアナルプレイができなかった子にペニスバンドを装着させ、アナルプレイができる子を犯させるというのも三人同時に興奮できます。

- ・ペニスバンドにも女性のアヌスにもローションをたっぷりつけること。
- ・あてがうときに角度がついていると痛いので、直腸に対してまっすぐに入れること。
- ・カリ首がアヌスを通過するときがいちばん痛いので、小刻みに出し入れせずに、ゆっくりペニスの中腹まで入れてしまい、しばらくジツとしていること。
- ・怖がったり痛がったりしているときは、ローターを当てたままアヌスを犯すこと。

……などのコツを教えてあげることによって、「できない子」も安心感が得られます。興味がわいてきたようだったら、「交代してみる？」と役割をチェンジさせて、ペニバンでのアナルプレイに挑戦させてみます。

「連帯責任だからな。二人ともアナルできるようにするまで頑張り」と励ましながら進めるといいでしょう。制服やメガネ、体操服などの小道具があれば、さらに盛り上がるでしょう。女性が妄想しやすいように、時には保護的に、時には命令的に、先生らしくプレイを進めていきましょう。

第三章

私を囚われの姫に してください…。

例文⑧ 入門編「今夜は一步も外に出さないからね」

例文⑨ 初級編「逆らってもダメだよ、君には決める権利なんかないんだからね」

例文⑩ 中級編「もう、洋服なんか要らないね…」

例文⑪ 上級編「勝手にトイレに行くのは禁止だよ」



第三章

私を囚われの姫にしてください…。



例文⑧ 入門編 「今夜は一步も外に出さないからね」

今も昔も女性が好んでする妄想のベスト1は「囚われの姫になった自分」でしょう。

多くの女の子は小さい頃に——性の目覚めよりずっと前に、最初の監禁妄想を体験します。多くの民話や童話に「悪者や魔物に捕まえられて、どこかに閉じ込められるお姫様」が出てくるからです。多くの物語で、女性には捕まる側で、男性には捕まえる役と助けに来る役がいて、最終的に女性は救われて幸せになるのです。

100%近い女性が、物心つくかつかないかの時期に、「捕まえられて縛られた女性が、自分の力ではなく男性の力で救われて幸せになる物語」の洗礼を受けている、と考えていいと思います。

女性の心の奥底に眠っている『監禁願望』を呼び覚ますトークを、またショートストーリーの中から学んでいきましょう。今度は女性一人称のお話です。好きな女性、恋人の独白に置き換えて読んでみてください。

研二に抱かれるの、すごく好き。こないだの時、一瞬体がふわっと浮いたような気がした。あれは、もしかしたらイキそうだったのかな？

イクってどんな感じなんだろう？ いつもだって、すごく気持ちいいけど、もっとよくなっちゃうんでしよう？ 今日研二と逢うけど……もしかしたら、今日こそイッチャうかもかもしれない。

あっ、チャイム鳴ってる。思ったより早い、もう一度お化粧直しするつもりだったのに……。

都内のあるアダルトショップの調査では、女性の80%以上は最初の相手とのSEXで「快感があった」と答えています。でも、同じ調査の中で「男性とのSEXでイッたことがある」と答えた人は38%しかいません。多くの女性が「もう少しでイキそうなのにイケない」でいるのかも知れません。

その「もう少し」を、女性と妄想を共有してクリアする方法を考えてみます。でも、彼女や奥さんがどんなことを妄想してオナニーしているか、までは知らない人のほうが多いと思います。

女性同士でも、「あのタレント、セクシーだね」とか「抱かれない」という話はしても、「昨日、すごいイケメンに監禁される想像してオナニーしちゃった」

などという会話はまずしないでしよう。まして自分の彼氏や旦那さんに話して、ドン引きされたら困る……と知っている人がほとんどのはずです。

そこで、多くの女性が一度は思い描いたことがあるであろう、「囚われの姫」パターンの妄想を誘ってみます。

「ごめんね、仕事が終わらなくてさ〜」

「お腹空いてるでしょ？ シチュー温めようか？」

研二のためにご飯を作ったのも初めて。楽しい。研二のジャケットをハンガーに掛けながら、洗面所で手を洗っている音を聞いている。同棲したら毎日こんな感じなのかな。

「あっ、ちよつとコンビニ行ってきてもいい？ ビール買ってくるわ」

お財布を持って立ち上がったところに研二が入ってきた。

「ダメ、行っちゃ」

ちよつと笑ってる。でも、研二に「ダメ」って言われると、またドキドキする。

「すぐそこだから、三分ぐらいよ？」

「今夜はもうどこへも行っちゃダメ」

急に抱きしめられた。真っ白なワイシャツの腕が私の首を抱き寄せる。唇を合わせる瞬間に研二が言う。

「一歩も外に出さないからね」

ゆっくりソファに二人で倒れ込んだ。ああ、もうご飯なんてどうでもいいや……。

まずは言葉で彼女を拘束します。束縛されている……と感じてもらおうための会話です。どうでしょうか？
これぐらいの言葉なら、芝居がかり過ぎて彼女が白けてしまうこともないでしょう。

「いいよ、酒なんて」

「とりあえず一発やろうよ」

というのが研二の本音だと思うのですが、

「今夜はもうどこへも行っちゃダメ」

「一歩も外に出さないからね」

という命令口調によって、その場の雰囲気は淫靡でSMチックなものに変えています。

すでに関係のある二人ですから、わざわざ泊りに来たのなら、朝までどこにも出かけないのは不思議ではないのですが、あえて「彼氏からの命令」として宣言されると、女性はこれからの濃密な時間を想像して期待でいっぱいになります。

ソファに私を押し倒してから、研二はゆっくりネクタイを解き始めた。男の人のこの仕草、すごくセクシーでカッコいい。思わず見とれていたら、研二も私の目を見下ろしていた。なんだろう、この角度、とつても落ち着かないんだけど、すごく興奮する。

「今、脱がせてあげる」

研二が言う。そんな言い方をされたら、脱がせてくれるのを期待しているみたいで……恥ずかしい。

研二はネクタイをとって、私のニットを脱がせはじめた。私の目を見ながら、ゆっくりと……。私はもう恥ずかしくて研二の目を見ていられなくなって、手で顔をおおってしまった。

「見てなくちゃダメだよ」

研二の左手が私の手をつかむ。そして研二の右手には解いたばかりのネクタイがあった。

すでに期待で胸いっぱい女性の言葉の矢を次々と撃ち込みます。ここがいちばん重要なところですよ。ここで女性を「言いなり状態」に持って行ければ、正直な話、後はあなたの好きなようにSEXを進めればいいの

です。逢ってから脱がせるまでの時間が勝負です。

ここで迷いなく女性をM扱いするのは。M扱いと言うと男性は、

「お前、本当はドMだろう？」

「縛ったり叩かれたりしたい？」

などなど、直球すぎる球を投げがちなのですが、もう少しドラマ性がほしいところです。女性に対して「何もかもわかっているよ」みたいな表情で変化球を投げてみましょう。

変化球セリフは、何でもいちいち女性を見下ろした視線で言うのが肝心です。普通だったら黙って脱がせるだけのところをわざわざ、

「今、脱がせてあげるからね」

と言うことによって、彼女が今置かれている状況の恥ずかしさを意識させます。

「ああ、脱がせてほしいと思っているの、見透かされてる……！」

と、彼女の恥ずかしさをあおるのです。

男性の皆さんはよくわかっていると思います。羞恥心のない美人より、恥ずかしがりの可愛い子を抱きたいというのが男性の本音ではないでしょうか。



女性は付き合い始めは何でも恥ずかしいのですが、相手に慣れてくると、ちょっと羞恥心を忘れることがあります。それが重なる、男性は彼女に幻滅したり飽きたりします。そうならないためにも、日々のエッチの時には女性の羞恥心を刺激するトークをしましょう。

女性をM扱いたときの注意点はもう一つあります。女性に、

「私ってMなのかも……」

「彼は私のこと、マゾだって見抜いているのかも……」と意識させ、

「彼に従っていけば気持ちよくしてもらえるかもしれない。幸せにってもらえるかもしれない」

と期待させるような会話をします。これは決して難しいことではなく、誰でもできることです。女性を見下ろしたトークをするということです。

ここで勘違いしてはいけないのは、字面はそっくりですが、「見下ろす」と「見下ろす」はまったく違うのです。SMプレイをしながら、女性を見下ろして、いきなり「ブス」だの「バカ」だの「ブタ」だの「罵詈雑言の3B爆弾」を浴びせかけてしまう男性がいますが、これでは女性は引いてしまいます。

見下ろす視線とは、例えて言えばお兄ちゃんが妹を見る視線です。意地悪もするかも知れない、何でも自分で決めて指図してくるかも知れない、でもお兄ちゃんは妹が大好きで、いつも自分の目の届くところに置いておきたいのです。実際、妹がいる男性はそのあたりの加減は上手です。

具体的に言いますと、これまで「くしよう」と提案していたことを、「くしてやる」「くして欲しいか？」と決めつける言い方に変えることです。デートの最中に、

「そろそろお腹空かない？」

と相談するところを、

「お腹空いたんだろ。しょうがないな、何か食べさせてやろうか」

と、妹を見下ろす視線で言ったほうが女性はセクシーな気分になりやすい、ということなのです。

ショートストーリーの研二だつて、ちょっと考えてみればそこは彼女の家なので、「今夜はもう外へ出さない」なんて決める権利はないのですが、理不尽なひとことが二人の間の空気をドラマティックに変えてくれること

は少なからずあるのです。

若い女性に人気のあるアニメやオンラインコミックスには、監禁のようなシチュエーションもたびたび出てきます。レイプも出てきます。だからと言って、

「女性はレイプ願望があるのか！」

と思っ込んでしまうと、それはちよつと違うかも……。

「思いがけない状況で強引に求められたり、犯されたりしたらすごく感じるだろうな」

と考えてはいても、現実にレイプの被害者になるなんてまっぴらごめんですし、本当に傷つくようなことはされたくないのです。あくまで、お兄ちゃんが妹を可愛がりすぎていじめちゃう、というような親しみと愛情の範囲内ではほしいのです。

例文⑨ 初級編 「逆らってもダメだよ、君には決める権利なんかないんだからね」

いよいよ少しずつSMチックなプレイに話を進めていきましょう。

まず最初に知っておいていただきたいのは、男性がパツと思っ浮かべるSMプレイと、女の子がオナニーの時に妄想しているDMな想像には少し開きがある、ということですよ。

例えば、普通の女性にいきなり麻縄でギチギチに縛られた女性の写真を見せたら、刺激が強すぎてドン引きされると思っます。それでいて、多くの女性は拘束された自分を想像してオナニーしているのです。

そんなに痛くはないけれど、絶対に動けないように手を縛られたり、恥ずかしいところが見えるように脚を開かされて固定されて、男の好きなようにもてあそばされる——目隠しやさるぐつわが加わることもあります。どうしてもどんな感じか知りたくて、パンストやリボンで足首を縛ってからオナニーする人もいます。

いつかは男性から拘束されてみたい、と思っていても、自分からは言えないのが女性なのです。

好きな人に「変態だ」と思われたくない——そんな不安が邪魔をするのです。そんな女性の心理を知ってい

ると、スムーズにSMプレイに進んでいけると思っています。

「ダメだよ、顔隠しちゃ……」

私の手首を二つ重ねるようにして、研二はネクタイで巻いて結んでしまった。

「えっ、やだ……」

一つに束ねた私の手首を頭の上のほうに伸ばさせると、研二は私の顔を見ながらスカートをめくって、太腿を下から上に撫で上げた。思わず「ひゃあんっ」と声が出る。

「何、うれしいの？」

「えっ、ちがう……」

「嫌なんだ？ イヤなことされて、ひゃあんっって言っちゃうんだ」

うれしいと言ったら、エッチな子だと思われるしまう。変態だって言われるかも知れない。でも、イヤだと言ったらやめられちゃう……やめてほしくない。

ネクタイの縛り目はきつくなくて、思いつきり手首を動かしたらほどけそうだった。でも、しない……このままがいい……。恥ずかしいけどこのままがいい……。彼の手がスリリと私のパンツを下ろして、ひやつとした空気がヘアのあたりを流れていく。お風呂に入っておいてよかった……。

「これでもう逆らえないでしょ？ 朝までこの体で遊ぶからね……」

「……うん」

研二に言われて、うなづく。嬉しいって言いたいけど、恥ずかしくて言えない。

女性を縛った時、拘束した時は、必ずひとこと言葉をかけましょう。

「これでもう逆らえないでしょ？」

と言われることで、女性はグッと被虐感を増します。ただ拘束されただけでは戸惑いのほうが勝っている女性も、こういう言葉で精神的にドMになっていきます。また、女性の不安を和らげる意味もあります。

拘束されたいと願っていたのに、現実にはそうされると不安からパニックを起こす女性もいます。彼女の表情

に少しでも不安の影があったら、

・言葉をかける

・アイコンタクトを取り、微笑みかける

・抱き締める

・寄り添って肌を撫でる

などのケアをすぐにしてください。

このケアがあるかないかで、彼女が拘束プレイを好きになるか嫌いになってしまうかが決まります。

緊縛のプロはショーやAVの撮影現場では、必ずこういうケアをしています。厳しい吊りなどをしたままパニックを起こしたら大変危険だからです。また、血行が妨げられて痺れていないか、そっと指先に触れて体温を確認することもします。

ここでやっていることはネクタイでの手首縛りですが、言葉でジワジワと女性のM性を誘っていきます。

「朝までこの体で遊ぶからね……」

「遥香には決める権利なんかないんだよ。わかった？」

日常生活でこんなことを言ったらD



Vですが、これはベッドの中の、二人だけのドラマでのお話です。

ここも見下ろしの視線です。怒鳴りつけたり苦痛を与えたりすることがSMの目的ではありません。王様と侍女、飼い主とペット、主人と奴隷、看守と囚人の関係をベッドの中で楽しむことが現代のSMです。まるでそうした権利があるかのように、ちよつと高みから物を言う感じです。

——そうした権利は、もしかしたらあるのかも知れませんが。なぜなら誰よりも彼女を愛しているからです。それがわかっているから、彼女も安心してあなたに体をゆだねるのだと思います。

例文⑩ 中級編「もう、洋服なんか要らないね…」

手首を拘束してSEXして——それだけで「囚われの姫」プレイを終わりにしてはもったいないでしょう。せつかく被虐感を知った彼女に、もう少し色々な拘束を味わわせてあげましょう。

本格的な緊縛の技術については三和出版のムックにも、「有末剛緊縛術」「有末剛の緊縛基礎理術」などの解説書がありますので、この本ではあくまで身近にあるものと妄想を使つてのプレイを考えていきましよう。

拘束する、縛る、というとロープを使つて縛らなくては、と思いがちですが、女性が拘束感を感じてくれれば何を使つてもいいのです。細長いものなら、何でも縛りの道具になります。ただ、気をつけなければいけないことはたくさんあります。

まず、伸縮性のある素材には注意が必要です。大きなDIYショップに行くと、さまざまな幅のゴムの紐を切り売りしてくれます。これは伸縮するので女性の体に巻きつけやすく、みっともないたるみができるにくいので、見た目がとてもいいのです。しかし、縛つて10分もすると締まってきて血流が妨げられます。人間の体は長時間血行を止めた部位は壊死して元に戻らなくなりますから、注意が必要です。

長さも2メートル位にとどめて、ごくゆるく拘束するだけに使うならいいですが、麻縄のように何重にもグルグル巻いたり、引っ張ってきつく留めたり、結び目を作るとは絶対にやめてください。

また、手芸材料店にある綿のロープ。肌触りが柔らかいのでいいだろうと思いがちですが、結び目がキュツと小さく固くできてしまうので意外に痛いのです。その割りに、結び目以外のところはたるみやすく、「縛ったはいいけど何だかなー？」という結果にもなります。女性が「痛いから解いて……」と言ってきたときも、小さく締まった結び目は簡単にはほどけません。きちんと切れるハサミを手近に置いておくことが絶対に必要です。プロでも、もちろん緊縛にはハサミを持ち歩いています。とっさの時に縄を切って女性を救わなければならぬ場面はたくさんあるからです。また、プロが麻縄しか使わないのは、麻縄はしっかり結べば結び目がほどけたり、逆にどんどん締まっていくこともないからです。でも、麻縄緊縛の技術は何度も人を縛って勘所を覚えないと危険です。縄の手入れも難しいです。

それより、ネクタイやストッキング、浴衣の腰紐などを応用しましょう。縛り方も、とっさに解ける蝶結びが安全です。その場にあつた物でとっさに縛ってしまった……という感じもいいたいものだと思います。

また、最近はアダルトグッズショップで、可愛いファーターの手錠などが売られていますので、そういうものを利用するのも楽しいです。物々しいSMグッズよりは彼女も抵抗なく受け入れてくれると思います。

男性には思いつきにくいことかも知れませんが、女性は男性に縛られたり拘束されたとき、自分の見た目がみつともないのではないかと気にしています。ほとんどの女性は緊縛美などというものは知りませんし、縛られた女性を見たこともないので、自分がどう見えているかまったく自信がないのです。

「きれいだね」

「君は縄が似合うね」

「一日中縛って眺めていたいよ」

というように、何度も女性に声を掛けましょう。男に捕えられて縛られて……という妄想を楽しんだことがある女性なら、こういう言葉に反応するはずですよ。

服を着させてもらえず、縛られて一日を過ごさなければいけない自分を想像して、彼女は興奮するでしょう。

また、縛った状態で女性に「太っている」「ブスだ」など、容姿を否定する言葉は絶対に掛けてはいけません。無意識に深く傷ついてしまって、あなたの前で裸になるだけでストレスを感じるように条件づけされてしまう

危険があります。拘束された状態の女性は全裸以上に剥き出しなんだと思ってください。

拘束した彼女を背後から抱きしめて、肯定する言葉を掛けてあげましょう。彼女の気分もアップしている時なら、そのまま鏡に映して見るのもいいかも知れません。

例文⑪ 上級編「勝手にトイレに行くのは禁止だよ」

アブノーマルなプレイに好奇心があるとか……。

恥ずかしいことをされたり、させられたりすると興奮するとか……。

中級編までのエッチでそういうことがわかってきたら、さらにSMライクなプレイに進んでいくのもありだと思います。昔、三和出版『マニア倶楽部』でSM専門の電話相談室をしていた時、男性から多かった質問が、「女性をどうやってSMプレイに誘ったらいいのか、わからない」というお悩みでした。

たいいていの女性は、痛いことや我慢させられることなど好きじゃありません。それどころか、SMプレイをさせてほしいなどと言ったら、「変態なことはイヤー」と怒られそうですよね。

「これはゴツコなんだ。いつでもやめられる、後戻りできるんだ」

という安心のもとに、少しずつ二人で禁断の園の扉を開いていきましょう。

この章では、「彼の部屋に監禁されている」という妄想を共有して、ソフトな縛りを行いました。それによって、拘束されたままSEXする興奮や、自分だけが全裸で過ごす羞恥などを、少しずつ彼女に教えこんでいます。

ここまでで、彼女がどれぐらいアブノーマルなことにのめりこんでくれるか、何となく把握できていると思います。もっと先へ……もっと深く……と彼女が思っているようなら、もっとSM的な言葉を使っていきます。

例えば――

・一人でトイレに行っちゃダメだよ↓勝手にトイレに行くのは禁止する

・僕がやってあげるよ↓僕が管理する

・僕のちんちん舐めて↓ペニスに奉仕する時間だ

というように、ちよつと傲慢に感じるぐらい言い放って、二人の間に目に見えない上下関係を作ってしまう。また、「禁止」「管理」「奉仕」と漢字二文字の熟語をたくさん使うことで、「彼の言うことを聞くしかない……」という緊張感を演出します。

エッチしたら喉が乾いちゃったみたいで、研二はコンビニに行く支度をしてる。

「私も行く〜」

って服を着ようと思って、ネクタイで縛られた手首を出したら、

「ダメだよ。外に出さないって言ったでしょ」

って、今度は手首を背中に回されて縛り直されちゃった。



なんか、本格的……これじゃ何もできないよ。

「ねえ研二、トイレに行きたくなったらどうすればいいの?」
ちよつと甘えてみた。

「何だよ。今のうちにしとけよ。俺、しばらく帰らないかもしれないから」

面倒くさそうに、舌打ちして言う。研二、わざと意地悪してる。私が困る顔、見たいんだ……。

「じゃあ、今すぐトイレに連れてってよ」

「何でお前が俺に命令してんの。立場わかってる?」

ちよつと笑いながら言う。私は裸なのに、研二はデニムを穿いてTシャツも着て、立ったまま見下ろしてる。……縛られて、トイレに行きたいってお願いしている、かわいいそうな私を……。

「立場」も「禁止」「管理」「奉仕」と同じように、緊張感をもたらしてくれる漢字二文字のプチSM語です。

こういう言葉には、女性をどんどんMにしていく力があります。縛ったり叩いたりすることよりもずっと効果的で、女性をいい気分に酔わせることができるのです。

「かわいいそうな私」を楽しむことは、女性にとつての「いい気分」です。脳の快楽であり、精神が解放される癒しの時間です。これは絶対に忘れないでください。女性を本当にかわいそうな目に遭わせてはいけません。 「かわいいそうな私」を演出してあげて、楽しませてあげることがSMという特殊な世界での「おもてなし」なのです。SMという二人だけで楽しむ性癖の本質でもあります。

「おトイレに……連れて行って……お願いします」

「やだよ。さつき俺に命令したの、気に入らないから」

「研二、お願い……!」

研二は私の脱いだ服の中からパンストを探してきて、楽しそうに私の足首をパンストで縛って、ベッドの脚にくくりつけてしまった。

「ねえ、これじゃトイレに行けない……」

「勝手にトイレに行くのは禁止。
全部俺が管理するから」

そう言われたら、下腹部がキューンとしてきて、ますますトイレに行きたくなってきた。

「お願い、漏れちゃう……」

返事はしないで、研二はベッド前の床にプラスチックのゴミ箱を置いた。

「これにしろよ」

研二は私の脚を開かせて、太ももの間にゴミ箱をはさませた。すごく恥ずかしい恰好……。手を縛られているから、グラグラしながら私はゴミ箱にまたがった。

「やだ……恥ずかしい……」

「早くしろよ、コーラ買いに行きたいんだから」

最高にみじめなポーズのまま、もう研二と目を合わせられないほど恥ずかしくなって、私は目をつぶった。そうしないと、オシッコが出ないような気がして。

チヨロ。ジヨロロロロロ……。



ああ、オシッコが出てる……！ 研二の見ている前でオシッコが出ちゃってる……！

「床に飛ばすなよ。飛ばしたら舌で掃除させるからな」

そんな……あ……。ひどいことを言われて、でもそれがなぜか心地よくて、オシッコの流れが止まった後も、私はしばらくゴミ箱にまたがって、股間のしずくが乾くのを待った。

生まれてはじめてこんな……トイレの前で……大好きな人の前でオシッコをさせられて。すごく惨めで、すごく甘えなくなる、変な気分で泣きそうだった。

「おりこうさんだね」

不意に、研二が私の頭を撫でた。それから研二は私のまぶたと頬に唇をつけてきた。

「こんなに泣いて。かわいそうに……」

知らずに涙が出ていたみたい。研二は私をギュッと抱きしめて、おまたをティッシュで拭いてくれて、それからコンビニに出かけて行った。

私は縛られたままベッドに寝かされて、研二の帰りを待った。時間がすごく遅く進んでいる気がする。耳を澄ませて、ガチャリと鍵の開く音だけを待っていた。

ただ待っているだけなのに、全身の皮膚がピリピリと張りつめて、敏感になっていく……二人の間で、新しいことがはじまっている……。

「拘束」から「管理」へ、女性を感じさせながらゆっくり進めていきます。管理する内容はいろいろ考えられると思いますが、オシッコの排泄管理は最初の管理プレイにはびつたりでしょう。

羞恥心に悶える彼女の姿を楽しみながら、

「俺の前でだけ何でもできる、何もかも曝け出したM女」

へと導くことができます。

大きい方の排泄管理はかなりハードルが上がるので、第五章・第六章でくわしく解説します。

ここではオシッコのタイミングまで支配されたかわいそうな自分、好きな人にどうしても逆らえない自分……という甘美な妄想プレイをたっぷり楽しませてあげましょう。

第四章

私のお兄ちゃんに なってください…。

例文⑫ 入門編「お兄ちゃんが欲しいと思ったことある？」

例文⑬ 初級編「ママ、僕勉強が手につかないよ」

例文⑭ 中級編「パパと僕と、どっちが大きい？」

例文⑮ 上級編「悪い子だ、お父さんに隠していることがあるだろう？」

例文⑯ 上級編「いい子になるために罰を受ける時間だよ」



第四章

私のお兄ちゃんになってください…。



例文⑫ 入門編 「お兄ちゃんが欲しいと思ったことある?」

第二章の先生と生徒と同じく、女性が入りこみやすく、想像しやすいロールプレイです。お兄ちゃんと妹、パパと娘、お母さんと息子、嫁の母と婿……などの類似パターンも研究していきましょう。

ひとくくりにするなら「近親相姦プレイ」ということになりますが、アダルトビデオによくある近親相姦物を想像してしまうと、うまくいかないかも知れません。ちよつとショートストーリーを見ていきましょう。

小学校の頃、お兄ちゃんのいる友達がうらやましかったな。私は一人っ子だから、テレビに出ている歌手しか知らなかったけど、お兄ちゃんのいる子はフェスや洋楽の話をしてくれた。知らないアーティストの話が多かったけど、カッコいいなあ、と思ってた。だから英吾に聞かれた時はちよつと嬉しかった。

「お兄ちゃんがほしいと思ったことある?」

「うん、超欲しかったよ」

「じゃあ今日一日、俺がお兄ちゃんになってやるよ」

私が想像するお兄ちゃんとはタイプ違うよね……そう思いながらも、何だか楽しくなってきたの。お兄ちゃんに何してもらおうかなってね。

昔から少女漫画によくあるパターンの一つに、「親の再婚で急に兄貴ができた」というのがあります。しかも、「数ヶ月早く生まれただけの兄貴でクラスも同じ」だったり、なぜか「親は海外に赴任してしまって二人暮らし」になったりします。つまり、まだ学生なのに男と二人きりで暮らす、という状況にドキドキするのは、女の子は。そしてこの新しくできた兄貴は決まって性格が意地悪です。好きな女子に好きと言わず、困らせたり怒らせたりして楽しむ、いわゆるドSです。

Mっ気のある女の子は、少女の時から男に従うことを妄想しますが、「従うしかなかったんだモン」という条件がどうしても必要です。「学校では同じクラス、家では二人きり」という設定は、意地悪兄貴から逃げようがなく、妄想するのに大変都合がいいのです。

ところが英吾ったら人使いが荒くて、背中揉んでとかアイス持ってこいとか。意地悪すぎる。

「もっと優しいお兄ちゃんがいんだけど〜?」

「優しくしてやってもいいよ」

そう言っつて、その時食べてたアイスを口移しに入れてきた。そんなことされたの初めてでビックリした。

「英吾〜お、それは優しくじゃなくてヤラしくだよ」

「いいじゃん。このお兄ちゃん少しおかしいの。変態なの」とか言っつて、私の口のまわりについたアイスをペロペロ舐めてきた。

「いやだあ、ベタベタになっちゃう」

「言っつたら、私のパンツに手を入れてきて、」
「そうだね、ベタベタだね」

……ほんとにこのお兄ちゃんどうかしてる。



妄想プレイ全般に言えることですが、ただ「お兄ちゃん」とか「先生」とか役割を決めただけだと、すぐに行き止まりになってしまいます。それでも強引に続けようとすると白けてしまう場合もあります。

「少しおかしい、変態なお兄ちゃん」「生活指導係でオラオラ系の体育教師」
など、ちよつとだけ性格付けをすると彼女もノツてきます。

ふだんの自分と少しちがうタイプの人間になってのエッチはスリリングで、いつもより興奮できるでしょう。たまにコスプレしてエッチすると燃えるのと同じです。

例文⑬ 初級編「ママ、僕勉強が手につかないよ」

同じく女性が妄想しやすい＝興奮に身をまかせやすいトークをもう一例。

今度はママと息子です。ママプレイと言くと、「やらなきゃダメなのか……めんどくさい」と思う女性は少ないと思います（笑）。赤ちゃん返りした男性に「ダアダア、バブバブ」とやられるのは白けるし、甘えられるだけの役は疲れるものですから。

年齢的にもう少し大きな息子になってママをいじくりましょう。

久しぶりに二人きりの夜だ。出産から二年ぐらい、美穂と僕の間にはいつも娘の美夏がいて、それはもちろん嬉しいことなんだけど、夫婦の時間はいつの間になくなりかけているんだよね。

二人でテレビを見ていたのに、美穂はキッチンに立ってお皿を洗っている。せっかく実家に美夏を預けたんだから、今夜ぐらいゆつくりしていればいいのに……。

「ママー。僕、勉強が手につかないよー」

「えっ、どうしたの？ お勉強しないとおバカさんになっちゃうよー」

昔はよくこんなふうに悪ふざけしてたんだよね。

家事と育児に追われている奥さんは、なかなかSEXのムードに入るきっかけがつかめなくなっていたりします。決してSEXを拒絶しているわけではなく、切替えがうまくできないのです。

でも、そういうことが二度、三度と続くと、だんだん脳が「SEX回避」に慣れてきて、やがてセックススルスになってしまいます。お子さんのいるご夫婦は、二人きりの時間が少しでもあれば、肉体的な接触を必ずするようによみましょう。

キッチンに入って、エプロン姿で洗い物をしている美穂を後ろから抱きしめる。美穂はクスクス笑って、

「ふふっ、美夏と同じことしてる」

「そうだよ。いつも美夏に取られちゃうからガマンしてるんだよ。ママは僕のママだよ！」
母親の余裕か！ じゃれついて邪魔をしても、気にせずせせとお皿を洗っている美穂。

「勉強が手につかないんだってば！」

「えっ？」

「ママ、僕、勉強に集中できない。ウズウズするの、ここが」

可愛いエプロンのリボンの下のヒップに股間をこすりつける。……やべえ、本当に勃起しちゃった。強くすりつけ過ぎて、美穂の尾てい骨に当たって痛い。それでも勃起はやまない。

「優君……」

チラッと後ろを見た頬が赤い。勃起に気づいて反応してる。

「優君とか子供扱いするな！ ホラ、こんだよ、ママ」

無理やり美穂を振り向かせて、水に濡れたままの手をつかんでデニムの上から硬さに触れさせる。

「お茶碗、洗えないよ……」

「茶碗なんか、いいよ」

ズボンの前を開けて、ペニスを握らせる。濡れた手が冷たいけど、ガマン。それでも勃起はやまない。この状況に興奮しているからだ。

「ママ、僕のちんちん大きい？」

「……ええ、大きいわ」

美穂もすっかりママ口調だ。

「ママ、舐めてほしいよ。ガチガチで勉強できないんだよ」

「しようがないわね……一度だけよ」

美穂の困り顔は可愛い。おずおずと僕の股間にしゃがんだ美穂の口に、僕は勢いよくぶち込んだ。

このロールプレイでのあなたの役どころは「ワガママな息子」です。ワガママを装って、母親を振り回しているように見えるトークを繰り返しながら、彼女をリードしていきます。母親と息子のパターンと言うと、女性が痴女的にいじくってくれる展開を期待しがちですが、いきなりそれは無理です。

なぜかと言うと、女性にとって痴女プレイほど面倒なものはないからです。S性が優っている女性ならともかく、多くの女性にとって痴女プレイは究極のサービспレイなのです。

とは言え、たっぷり感じさせられイカされてお腹いっぱいになると、

「責められてばかりだったけど、私からも責めてあげたいな。うんと感じさせてみたいな……」

という気持ちになるものです。実は、女性はパートナーの男性がしてくれるいろいろなプレイから、責め方を学ぶというか、無意識に身につけているのです。

例文⑭ 中級編 「パパと僕と、どっちが大きい？」

例文⑬のトークに彼女が乗ってきてくれた場合は、こんなトークでさらに彼女を煽ってもいいかも知れませんが、女性にとって、

「二人の男性を比較するシチュエーション」

「二人の男性から一人を選ばなければならないシチュエーション」

は、とても刺激的だからです。

美穂の口の中は熱くて柔らかい。ペニスに歯を立てないように、めいっばい口を開けようとしてくれているのがいじらしくて、そしてエロい。

自分の硬度を試すように美穂の口の中にペニスをぶち込みながら、

「パパより硬い？ パパより大きい？」

と言ってみた。口い

っばいにペニスを詰め

込まれた美穂は「うう、うう」としか言えない。

必死に僕を見上げる目に涙がにじんでいる。

チ○コがデカすぎて

口がきけないんだ、と思った瞬間、危うく射精しそうになる。

「パンツ脱げよ……ママ、脱げ」

美穂はキツチンシンクと僕の間の狭いすき間で、苦勞しながらパンツを脱いだ。

こうなるとは思っていなかったんだらう。



手入れを怠ったヘアが、前より濃く茂っているようにみえる。その無防備な恥丘に興奮を誘われて、僕は美穂の片脚をかつぐようにして、真っ赤なほころびにペニスをあてがった。

その場にいないもう一人の男の存在を作ること、ちょっと寝盗り・寝盗られの要素が入ってきます。「パパと僕のどっち？」もそのバリエーションです。AVを見ると、ほかにも義父（お舅さん）と嫁、嫁と義弟（夫の弟）などというパターンもあります。

最近は海外の流通会社や通販会社から、『近親相姦』は犯罪であり助長してはいけない、という指摘があつて、AVのパッケージにはこの語句を使わないように自粛しているメーカーもあるようです。

「これはフィクション。ドキドキさせるための仕掛けだからいいのでは？」とも思うのですが、どうでしょうか。血の繋がった身内ではあり得ないかも知れませんが、兄弟の奥さんがセクシーに見えてドキッとすると、というような経験はそんなに珍しくないのではないでしょうか。

だからと言って現実には「お義姉さん……」と襲ったりする人は、私は見聞きしたことがありません。みんな、禁断の欲望はフィクションの中で充たして終わりにしているのだと思います。

例文⑮ 上級編 「悪い子だ、お父さんに隠していることがあるだろうか？」

……という堅い話をしたところで、上級編です。現実にあつたらシャレにならない設定のロールプレイです。ここまで来ると抵抗ある女性も少なからずいると思うので、取扱いは慎重にお願いします。「父親と実の娘」というパターンです。

人はそれぞれ生きてきた環境も、経験もちがいます。いくら「これはSEXのファンタジー」「楽しむためのスパイスだ」と言っても、嫌悪感を抱く人に見せたり聞かせたりしてはいけません。

これは性愛全般に言えることですが、それを享受したい人の自由は、それを見聞または体験したくない人の

自由に常に道を譲らなければいけません。いついかなる時も例外なくです。

その了解をいただいた上で、禁断のプレイのショートストーリーです。実子という設定に抵抗ある人、フィクションとして読み過ごせない人は、ここは飛ばして次の第五章に進んでくださいね。

俺も美雪も、残業やら接待やらで、「落ち着いてゆつくりできる日に」なんて言っていたら、いつまで経っても逢えないってことにいい加減気づきはじめていた。いつだって寝不足なんだから。

俺の部屋で美雪が買ってきたピザやサラダを食べて、借りてきた映画を見てたら眠くなってきた。

いかん。これは二人して惰眠を貪ってしまうパターンだ。美雪もすでに半分ぐらい瞳のシャッターを下ろしかけている。これじゃ残業を断って帰ってきた意味がないぞ！

うつらうつらし始めた美雪のスカートをパツとめくる。行為を完遂するエネルギーが残っているかもわからないのに。でも、薄色のパンストに包まれた美雪の太ももは、思わず唇でなぞりたくなるほど魅力的だ。

「んふ……寝そうだった」

美雪は無邪気な笑顔を向けてきた。……寝るなよ（笑）、エッチすんだよ、これから！

恥ずかしそうにスカートを下ろす美雪の手首をつかむ。キヤツと笑う顔になりかけた美雪に、

「何隠してんの。ダメだよ、隠し事は」

多忙や育児が原因でセックスストレスになるというのはよくあることで、愛情不足でも相手を嫌いになったわけでもありません。むしろ相手を大切に思う人ほど、「疲れているみたいだからやめよう」と遠慮してしまいがちです。

付き合いはじめはいつもSEXをしていて、どうしたらやらずにいられるのだろう、と思っていた二人だつてセックスストレスになるのです。それは単純に習慣と習性の問題でしかありません。

たまたま「今日はやらないほうがいいかな」と思っている日に、「あ、今やりたい」とスイッチが入りかけた脳の反応をやり過ぎす——これを何回か繰り返していると、そのうちスイッチが入っても肉体が走り出さなくなります。

器質的に何ら原因のないED、セックスストレスの原因はこういうことだと思えます。最近の言葉で言うと「こじらせ」ということになるでしょうか。興奮を勃起に変える反応経路をこじらせているのです。

ペニスというわかりやすい器官を持っている男性と違い、女性にはEDという言葉は使いませんが、反応経路のこじらせはやはりあります。多忙と疲労、性交痛の記憶、妊娠の懸念、健康不安、様々な心の引っかかりが意欲を減退させます。

それでも「ヤル気」さえあればローションを使えば解決する話ですが、それさえもダメな時があります。

「そうまでしてやらなくちゃダメなの……？ 疲れているのに」

などと感じてしまうと、体は行為にに応じていても、密かに心が深く傷つき、

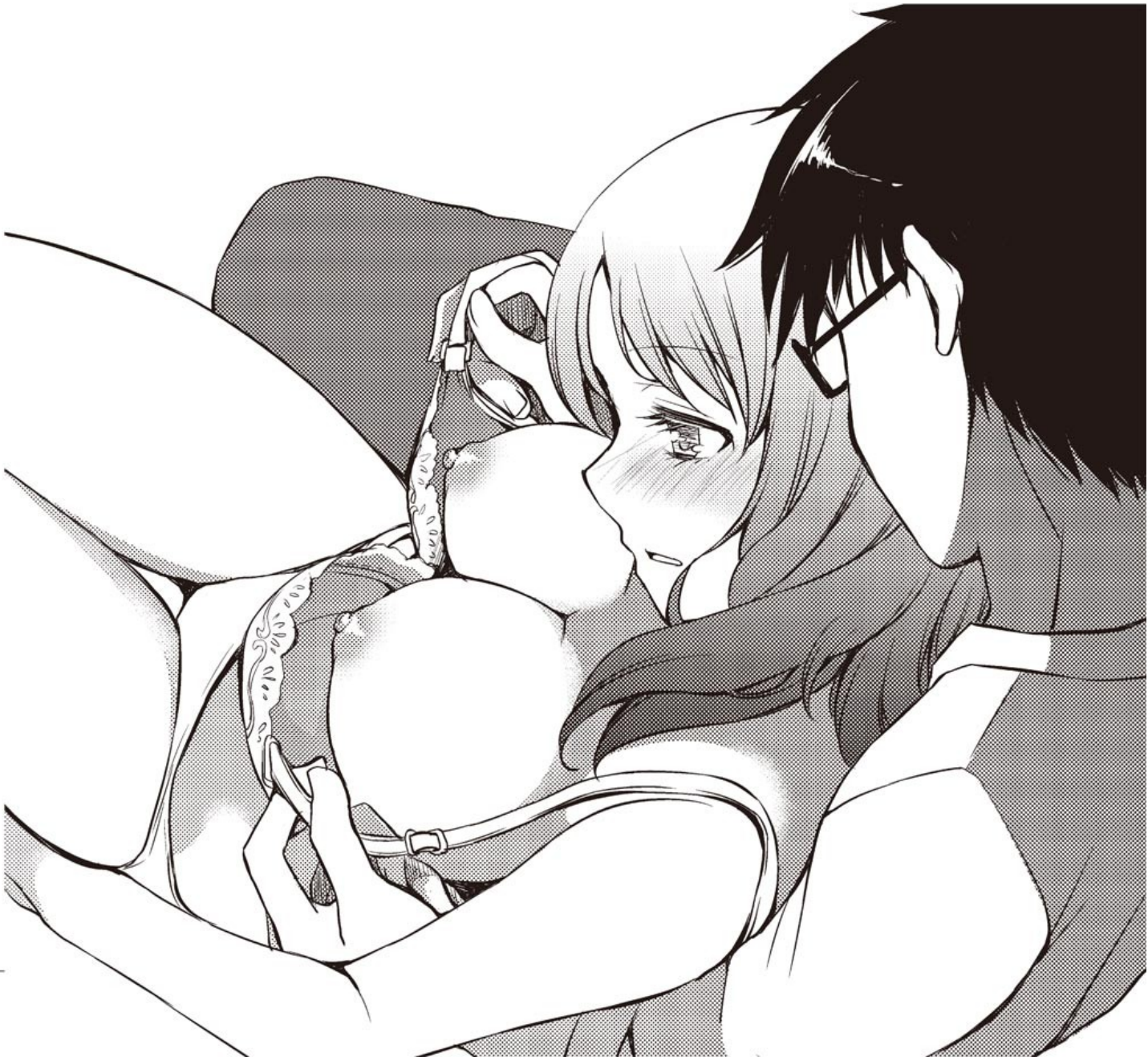
「SEXが嫌い」

「今さらヤラなくてもいいでしょう？」

と、どんどん後ろ向きになっていくからです。

セックスストレスは年齢や体の状態に関係なく、誰にも起こる可能性のあることなのです。

セックスストレスの気配を感じたら、そのままにしないで早く解決するべきです。とは言っても、



「前は週末ごとにしてたんだから」と、一方的に回数をこなそうとしたり、

「何でこうなったんだろう？ どっちが悪いんだろう？」と、原因追及をするのは逆効果です。

こんなときこそ妄想プレイの出番です。現実的、日常的な会話を続けているかぎり、どんどんSEXしない方向に脳が体を制御してしまうので、いつそあり得ない世界にかつ飛んでみましょう。

その結果、行為に至らずセクシーな会話だけに終わってしまったとしても、日常にないテンションが二人の心を軽快にしてくれるでしょう。

笑顔を途中でとめた美雪は軽く口を開けて、その顔がすごくセクシーに感じる。ふだんあまり見ない表情だ。

この顔、もっと見ていたい。その口にぶち込みたい……！

「悪い子だ。パパに見せられないなんて、おかしいぞ」

「だってえ〜」

「どのぐらい成長したか見てやる」

手をかけると簡単に膝が左右に開いた。恥ずかしそうに顔をそむけているくせに、本気で抵抗はしていない。花柄のところどころレースをあしらったパンティがあらわになった。明らかに勝負下着だろ、これ。

「誰に見せるんだ、こんなスケベな下着」

「雅人くん」

おい、マジレスするなよ（笑）。それは俺の名前だけど、俺は今パパだっつってんだろ〜！ 小芝居を打っているのが恥ずかしくなっちゃうじゃないか。こんなときこそお仕置きだな。

「男に見せたくて履いてるのか」

「あっ……！」

生地の薄いパンティをグツとつかんで紐のようにし、美雪のアソコをこする。そう、これやって見たかったんだ。AVでよく見るけど、どうなの？

「やめてえ……」

気持ちよくてやめてって言うてんのか、本当にやめてほしいのか、わからないよ。

女の子の「いや」「ダメ」「やめて」が本心かどうかわからない。男性が何百回も何千回も直面する懊悩です。何らかの行為がはじまる時、女性はとりあえず「いや〜」と言いがちです。海外の人はわかりませんが、日本人の美意識としては、何かされる前にいったん遠慮するほうが絵になる感じがします。

絹の襦袢がスリと肩をすべり落ちかけた時、肩をぶるん！と振って脱ぎ落すよりも、指先でそっと抑えたほうが美しく見えると、我々日本人は共通の認識として持っているのです。それが言葉にも出ちゃう。

「やったり、もっとやって、もっとやって！」

と笑いながら言う、という文化ではないんじゃないでしょうか。アメリカのポルノムービーなどを見ると、非常に前向きでポジティブで、それが良しとされているのと対照的です。

しかし、当の男性は大変です。やめるべきか、敢行すべきか。後から「やってくれなかった！ケチ！」と恨まれるかも知れないし、「イヤだって言ってるのに無理にやりやがった！」と恨まれるかも知れませんから。

そんな時、女性側としても早く真意をくみ取ってほしい。本当はしてほしいのを感じ取って、じらしたり、強引にやったりしてほしい。……と、いろいろ思っているわけです。

真意が伝わるかどうかは男性のアクションにかかっています。

先に進んでいいかどうかを知るために、有効なテクニックを知っておきましょう。

困った俺は美雪にたずねる。

「いやって何だよ？」

答えを探している美雪の唇を、俺の唇でふさいだ。

質問しておいて声を封じるなんて、ちょっと意地悪だな……そう思うとまた興奮する。

美雪の柔らかい舌がぬめぬめっと動いて俺の舌を歓迎してくる。唇を重ねたまま、もう一度、細くしたパンティを引き絞ってみた。

美雪は俺と唇を密着させたまま、「く〜く〜」と子犬が泣くような声を漏らしながら、されるままになった。意を強くして何度も引き絞って、上下にこするようにする。美雪はますます鼻にかかった声をあげて反応する。パンティの上から爪でそっと搔いてみると、ボタンのように固くなったクリトリスがそこにあった。

「こんなの穿いて会社に行ってるのか……こんなにドロドロにして」

「ああん、ごめんなさい」

もう確信してパンティの中に指をすべりこませると、案の定あふれかえっていた。美雪が好きな触り方をしてやる。あふれた汁を指先にまぶして、クリトリスを下から持ち上げるように撫で上げる。

「ひゃあああんっ」

今行っているプレイを女性が歓迎しているかどうかは、言葉であれこれ聞くよりもキスするのがいいでしょう。積極的に舌を迎え入れてくる、体重をあずけてくる、などの反応があればOKです。

プレイをやめてほしいな、と思っている時はキスに対しても反応が悪くなりますから、その場合は手で行っている行為をそっと中止して、そのままキスだけに集中します。

たまさか女性が好まないプレイをしてしまった場合、キスが彼女の心を慰めてくれます。

例えば彼女の体調が悪くて性交痛を起こした時、いつもはMっ気たっぷりの彼女の乳首を強くつねりすぎて「痛い」と言わせてしまった時、どんな時もキスでインターバルを取りましょう。

このときのキスは荒々しく唇をぶつけるようなキスではなく、ていねいに唇を合わせて、傷口を舐めるように優しく舌で彼女の口の中を探ります。気まずさが消えて、いい雰囲気回復します。

唇を離すと、彼女の熱いため息が漏れた。いい感じだ。

「エロいパンティ、パパが没収するよ」

脱がせようとする美雪はヒップを浮かせて協力してきた。

久しぶりなのに、ペニスの先をあてるとズルッと滑った。

「いやらしいね、叱られて濡らして」

「……ごめんなさい」

イヤらしくさせているのは俺なのだが、美雪は素直に謝る。女の子って絶対、「ごめんなさい」って言いながら感じてるよな。結局、三週間ぶりのSEXはいつもより盛り上がり、俺は二回出した。

「ごめんなさい」と言いながら感じるというのは、少しでもM性のある女性なら経験したことがあると思います。オナニーの時に、「ごめんなさい……許して……ごめんなさい」と言いながらイク女性は多いです。

「付き合っている彼女がMかどうか知りたい」

「彼女とソフトSMを試したいが拒絶されないか心配」

男性からよく聞く悩みです。前戯しながら「ごめんなさい」という時の彼女の表情、声、濡れ具合などを観察してみましよう。M性の強い女性は、謝っているだけで頬を赤らめたり、「ごめんなさい……いい」と何とも余韻のある声を漏らしたりするものです。

昔はマゾⅡ恥ずかしい性癖という概念が強かったので、自分からMだと認める女性はほとんどいなかったのですが、今は「ドMだよ」と明るく言える風潮にもなっています。でも、男性にとっては恥ずかしさと戦いながら告白してくれる女性が魅力的なのは、今も昔も変わらないでしょう。

言葉で堂々と宣言されるより、体の反応や表情からくみ取るほうが、より心豊かな世界が築けるような気がします。行為を一步一步進めながら、キスで彼女の気持ちを感じ取っていきましょう。

例文⑩⑬ 上級編 「いい子になるために罰を受ける時間だよ」

ほかの章のプレイにも言えることですが、初めての時はあまり妄想を長引かせずに、彼女が興奮していることがわかったら、すんなりセックスに移行するのがいいと思います。

「妄想しながらSEXしたの、よかった」「興奮した」という記憶が彼女の脳裏に残ることが大切です。

例文⑩のお説教プレイも、何度かイッて彼女が慣れてきたら——あなたに「お説教される」「叱られる」というシチュエーションで興奮してくれるようになったら、お仕置きプレイに進みましょう。

ただし、お仕置きプレイは現実には親から体罰を受けていた人は楽しめないようです。叩くまではされていなくても、厳しく叱られて廊下や屋外に出される、正座させられる、などの体験のある人には行わないほうがいい

いでしよう。

本人が「大丈夫」と言っても、幼い頃の体罰で受けた心の傷は奥底に眠っていることが多く、お仕置きプレイの最中に傷口が開いてしまうことも考えられるからです。

逆に親が放任だったり、過干渉だが甘やかす一方だったり、という人のほうがお仕置きプレイに喜びを感じる傾向にあります。

私は心理学者ではないので断定はできませんが、「親に厳しく叱られること」を緊密なコミュニケーションとしてポジティブに捉えたり、場合によっては憧れに近い感情を抱く人もいるような気がします。

アブノーマルなプレイに興味がない人の中には、罰プレイ⇨拷問・虐待だと思っている人もいます。人を傷めつけて喜ぶ人と、苦痛で興奮する理性の狂った人がやるものだと誤解しているのです。

現実はもちろん違います。どんなにM性があったって、痛いものは痛いのです。どんなにSプレイが好きでも、残虐な犯罪者とは違うのです。

パパプレイや先生プレイで罰を演出するの



は、躡けたり叱ったりすることで、心の中まで深く結びつきたいからです。

女性にダメージを与えることよりも、羞恥心を刺激する罰を考えましょう。

・立たせる……「バケツを持って廊下に立っていないさい」は昔の漫画によくありましたが、妄想プレイでもやってみましょう。もちろんバケツは持たせません。SEXやプレイのインターバルタイムに、テレビを見てくつろいでいるパパの傍らに、ローターかバイブを装着させて彼女を立たせます。

「直立不動をくずしてはいけない」と言い聞かせて、身をくねらせたりバイブを股間から落したりしたら、さらに別の罰をプラスして延々と遊びます。

・お尻ペンペン……いわゆるスパンキングです。スパンキングのコツは第二章例文②で解説しました。パパと娘の「お仕置き」を妄想して行う場合は、オーバーベントスタイルがいいでしょう。男性がソファなどに腰かけ、太ももの上に女性が伏せます。この体勢でおもむろにスカートをめくり、パンティを下ろしてお尻を叩きます。

・猿轡……口答えをした子にはこれです。女性は猿轡や目隠しをされると、興奮が高まる人が多いです。

「見えない」「叫んでも声が出ない」という状況でどんどん敏感になります。本人の脱がせたパンティを口に詰め込むというのも屈辱的でいいでしょう。ただし、窒息にはくれぐれも気をつけてください。

・下半身裸……文字通りです。上だけ服を着せた状態で、わざとピザの出前や宅配便を受け取らせたりします。

・むき出しの下半身をドアで隠して受け取りながら、プチ露出の興奮が高まります。

・落書き……「私はパパの言いつけが守れない淫乱娘です」などと、ボディに書いてSEXします。鏡に映してSEXしたり、写真を撮ったりします。油性マジックで肌によく書くと、お風呂に入ったぐらいでは落ちませんので、百円ショップで売っている口紅などを利用します。ホテルのシーツに付けないように注意してください。

罰プレイの目的は、「パパ、ごめんなさい」「お兄ちゃん、ごめんなさい」と謝る可愛い姿を鑑賞すること、ちよっと追い込んで「反省のしるしに〇〇しますから許してください」と、新たなプレイや奉仕の約束をさせることです。また最後には、「よく耐えたね」と思いきり甘やかしてあげましょう。

第五章

お医者さんになって、 私の体を調べてください。

例文⑰ 入門編「力を抜いて楽にしてください」

例文⑱ 初級編「君の主治医になってあげる」

例文⑲ 中級編「これは検査です。動かないでください」

例文⑳ 上級編「君の体のすべての穴を、肉便器に改造します」



第五章

お医者さんになって、 私の体を調べてください。

例文⑱ 入門編「力を抜いて楽にしてください」

先生と生徒ごっこ、囚われのお姫様ごっこに比べると、ちよつと難易度の高い妄想プレイが医者と患者ごっこです。ほとんどの人は小さいころに「お医者さんごっこ」を経験しますが、大人も楽しんでみてはどうでしょうか。

実際に産婦人科に行き、内診台に乗ってみると、

「こんな不愛想な先生じゃなく、優しい彼氏が検査してくれるならいいのに……」

と思うものです。帰宅してから、自分の指をセクシーなお医者さんの指だと想像して、乳首を摘まんだり、ラビアを左右に開いて中を触ったりしました。

大人のお医者さんごっこをしてくれる彼氏がほしい……という女性の妄想をかなえてあげましょう。

賢太とは、いつかはそうなるんだろうなって予感があった。

学生の頃から知っているし、地元の飲み仲間だし、付き合っていると思われたことは何度もあるの。

お互いを知りすぎているから、これから賢太とSEXするんだと思うと、恥ずかしくて困る。

キスしている間に、賢太の手が私の腰に回されているのを感じたら、もうダメって思った。恥ずかしすぎてどうしたらいいかわからない。思わず腕を交差させて胸を隠してしまった。



……もう、中学生じゃあるまいし。

どうするのよ、この展開。どうするのよ、賢太！ あんたが悪いんだからねっ。

賢太がふっと力を抜いて、私の体から降りた。ああ、そっだよ。賢太だって今さら私とどうこうする

の、気恥ずかしいよね。

いつもの飲み仲間のままでい

い、そうそう。

「松浦さん」

え？ なんで苗字で呼ぶ

の？

「診察しますから、隠さな
いでください」

隠す？ 胸のこと？

「診察……って」

「お医者さんごっこ、した
ことないの？」

賢太、何を言い出したんだ

ろう。お医者さんごっこぐ

らいしたことあるけど、急

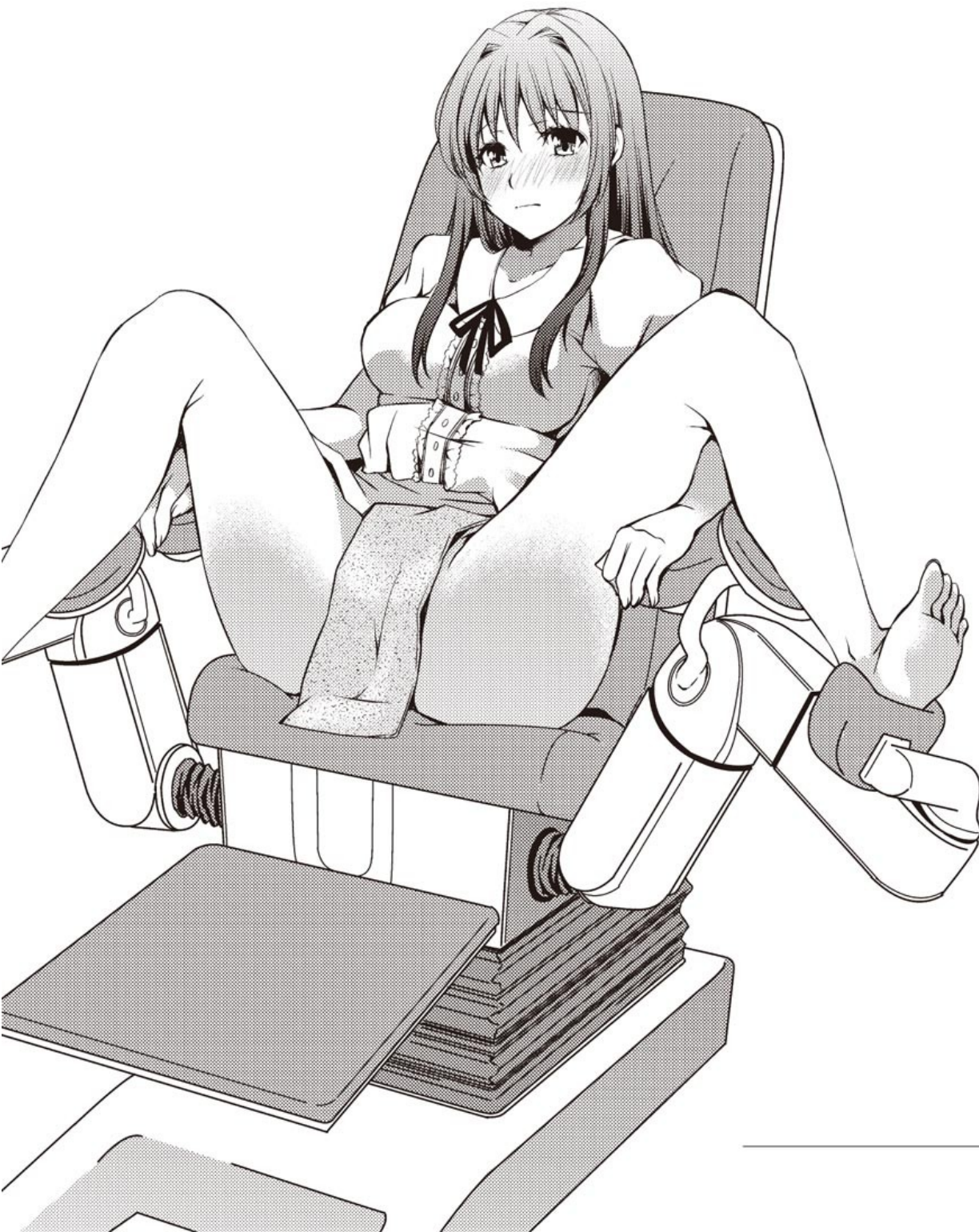
に言われてビックリしちゃ

った。

「松浦さん、少し酔ってい
ますね？」

賢太、お医者さんのつも

りなのかな。冷静な顔、作



ってる。メガネかけてるから、それなりにサマになってるけど。

仲良くなりすぎてセクシーな関係に進めない二人、いったんSEXのない状態を経験して、元に戻れないでいるカップルの悩みは深刻です。好きな女性の体に初めて触れるまでの苦労はもちろんありますが、一度こじらせた接触を回復するのはもつと大変です。

「せっかく精神的にうまくいっているのだから、それを壊してまでSEXするのは危険だ」と考えてしまって、なかなか元通りにならないものです。

そんな時こそ、妄想プレイを活用してください。うまく行かなかったら、

「ちよつと、ゴッコしてみたかっただけだよ」

と、中断すればいいのです。ノツてきてくれればラッキーぐらいの軽い気持ちで「大人のお医者さんごっこ」に誘ってみましょう。

彼女が引いてしまった場合は、

「まあ、また具合が悪くなったらいつでも来なさい」

とでも言っておいて、笑いで誤魔化してしましましょう。

多くの女性は「大人のお医者さんゴッコ」には抵抗を示さないようです。理由はシンプルで、体を委ねて一方的に肌に触れてもらうことは気持ちいいからです。美容院で髪を洗ってもらっただけでも気持ちいい、と思っている女性は多いです。そこには性的な意味がなくても、女性側の心地よさはSEXの快感と紙一重な感じます。男性は、「一刻も早く局部に触れてほしい」と思う傾向がありますが、女性は「局部に至るまでの時間が長ければ長いほど欲求が高まる」傾向にあります。

「失礼します」

と言って、賢太の手が私のシャツのボタンを開けていく。

やだ、マジで恥ずかしい。どんな顔していいのかわからないよ。

シャツを脱がせると、

「後ろ向いてください」

なんて、先生が聴診器を背中に当てるときみたいに言うの。

私、すぐに後ろを向いちゃった。だって、顔を見てるの恥ずかしかったんだもん。

「苦しいですね、とりますよ」

と、ブラジャーのホックが外された。裸の背中、賢太に見られてる……。

「どうしました？」

「……恥ずかしい」

「そうですか」

いつもみたいな悪ふざけにならないよ。賢太、本当のお医者さんみたいにひんやり言うだけ。

恥ずかしいって言ったこっちが悪いような気になっていると、

「……あっ」

賢太の指先が、触れるか触れないかの距離で私の背中をツーツとこすってきた。思わず声が出ちゃった。

背中、弱いんだもん。

「動かないでください」

「……はい」

本当に患者みたいな声が出てしまった。従順な声になっちゃって、それもまた恥ずかしいよ。

賢太の指は、動揺している私に構わずに背中をどんどん敏感にさせてくる。

たっぷり撫でたあと、背骨に沿ってツーツと腰骨に向かって降りていく。

「ああ……」

とうとう声を漏らしてしまった。

ここでもう乳房なり性器なりに手を進めてしまうのもアリです。ふつうのSEXになだれこむのもアリです。一つだけ、絶対にはいけないのが、ここで彼女にフェラチオさせることです。

今の彼女は、指先だけの愛撫に皮膚の神経を集中させ、副交感神経の働きがMAXになっています。何をされても増幅して感じるぐらいの、非常にいい状態になっているのです。ここでフェラチオという能動的に体を動かす行為に入ること、せっかく高まった副交感神経は急下降。感じやすくなっていた状態も台無しです。

女性が男性を「SEXが下手」だと感じるのは、この急降下をさせられた場合に多いのです。快感に身をゆだねている最中に、頭を使うフェラチオという作業を課せられたことが、大きなストレスになり、「今日のSEXは気持ちよくなかったなあ」というマイナスの感想となっていくのです。

「どうしたんですか、苦しそうですね」

賢太は私の両腕をつかんでゆっくりシートに押し倒していく。

シートが頬に冷たくて、自分が真っ赤になっていたことに気づいた。

「力を抜いて、楽にしてくださいね」

「はい……」

背中にふんわり触れたのは賢太の前髪だった。

「あっ……」

とても熱い賢太の唇が私の背中を滑ってくる。さっきの指のように、背骨にそって腰をめざして……。

ああ、もう我慢できなくなりそう。

「賢太……ああ」

返事のかわりに、賢太は私の右手を握ってくれた。唇の動きは止めずに……。今度は脇腹を舌で撫で上げるように舐めている。両足の爪先がピンとなるほど気持ちいい、くすぐったさと紙一重の気持ちよさ。

「ああ、もう……」

その先は言えない。賢太の右手をギュウツと握ると、賢太もしっかり握り返してくれた。

お医者さんゴッコにかぎらず、新しいプレイを試すときは、どこかで彼女の手を握ってあげると、気持ちが一つになりやすく、プレイに没頭してくれると思います。

やさしく手をにぎりながら、笑顔で彼女の顔を見下ろし、ゆっくりピストンする。あるいは挿入したままスローな前後運動を繰り返す。女性に好まれる挿入のパターンの一つです。このときもお医者さんぽく、「どこが感じる場所か調べるからね」と言っていると、彼女も興奮を誘われるでしょう。

例文⑱ 初級編 「君の主治医になってあげる」

医師と患者という妄想のシチュエーションを、もつと楽しみましょう。

遠距離恋愛のカップル、単身赴任や出張の多いご夫婦にお勧めなのは電話プレイです。リアルでは恥ずかしい……という彼女も、電話だと妄想に入りやすいと思います。

賢太ともう五日間逢ってない。新人研修が終わるのは明後日。まだまだ逢えないよ……。

電話は毎日かけてきてくれる。研修が終わって、課題が終わって、深夜。

私も準備して待ってるの。お風呂に入って、ベッドに入って……。あつ……。かかってきた！

「もしもし、賢太？」

「松浦さん、今日は……。どうでしたか？」

「どうって……。」

「今日はオナニー何回しましたか？ 何か挿れましたか？」

あああ、恥ずかしい……。こんな電話、賢太だから許せるけど、ほかの人だったら速攻切るわ。

「していません」

バカみたいにまじめに答えちゃう自分。ああ、電話じゃなくて早く逢いたいな……。

「してないんですか。じゃあ今してください」

「えっ……」

電話しながらオナニーするなんて……。そんな痴女みたいなこと……。

「どうしたんですか？」

「ごめん、恥ずかしいよ、できない〜」

「恥ずかしいんですか？」

「恥ずかしいってば」

「私は松浦さんの主治医ですよ。隠し事はなしでお願いします」

もう〜、賢太ったらまだお医者さんゴッコなのね……。

テレフォンSEXという言葉が流行ったことがありました。テレクラやダイヤルQ2が盛んだったころの話です。相手探しのついでに電話で相互オナニーもしちゃう？ みたいなノリでした。

今はそういうのはあまり聞かなくなりましたが、恋人同士なら電話でオナニーの声や音を聞かせ合うのもいいものです。リアルのSEXとはまた違った興奮があります。

お医者さんのような冷静な口調で、エッチな命令をしてあげてください。

「じゃあ、声を出さないでしてよ。それならいいでしょ？」

「えっ？……うん」

それはそれで恥ずかしいと思うんだけど、賢太もわざわざ同僚から離れたところで電話してるんだと思ったら、断りきれなくなっちゃって。

「ちよつとだけだよ？」

ケータイを左手で耳につけたまま、右手をそーっとパンツの中に入れる。別に興奮してはいないはずなのに、かなり湿ってる。賢太が知ったら喜ぶような気がするけど、さすがに言えない。

クリトリスのまわりを指でまるくなぞる。何回も、何回も……。

オナニーのときは、こーやってちよつと自分を焦らすの。……焦らされてるって想像するの。

「何しているのか説明してください」

黙ってはいって言ったのに……。

「触ってます……指で……」

「どこを触っているんですか、クリトリスですか？」

「ち、ちがいます……クリトリス……のまわりを」

「松浦さんはまわりを触るのが好きなんですか」

「う……ん」

「うん、じゃなくて、ちゃんとやってください」

「私は……クリトリスのまわり……を触るのが好きなんです」

いやらしいことを言わされちゃ

った……もう、ぐしょぐしょに濡

れている。

M性のある女性は、自分より冷静な態度で命令してくれる男性を好む傾向にあります。逆に、あからさまにエッチな欲望ムラムラな態度をされると、急に醒めてしまったりするのです。

その意味でも、お医者さんのな態度というのはM女性の気分を高めてくれます。

「まわりを触るのが好きなんだ？」
と聞くのと、「好きなんですか」と聞



くのでは印象がかなり違います。

前者はフレンドリーな感じですが、後者は男性側の余裕と優越感にじみ出ます。

また、M性の強い女性は「管理される」という状況に憧れる傾向があります。実際に行えるプレイとしては、まず「オナニー管理」、次に「排泄管理」というところでしょうか。

文字で見るとなんだか恐い感じもしますが、実は、

「逢えない日も俺のこと思い出せよ。俺は忘れてないからな」

というラブラブな気持ちを表現した妄想プレイです。そう理解しているから、女性もついてきてくれるんだと思います。

例文⑱ 中級編 「これは検査です。動かないでください」

さらにアドバンスな大人のお医者さんゴッコは医療プレイです。

彼女が大人のお医者さんゴッコを好きになってくれたら、女性器の婦人科診察プレイをしてみましょう。特に道具がなくても、ホテルの椅子の肘掛に脚を載せて開脚させ、懐中電灯で照らしながら指を挿れるだけでもいいのです。

彼女はきつと恥ずかしますが、

「ふふ、恥ずかしいの?」

などとからかってしまうと、医療プレイは台無しになります。ここは医者らしく、

「動かないでください。検査ですよ」

と、静かに言ってみましょう。

実際に産婦人科では指を膣の中に入れて診察をします。医学用語で「触診」と言います。

二人の間のプレイでは、病気の有無を調べるわけではないので、

①性感検査……どこをどう刺激すると感じるかを検査する

②膣圧検査……膣括約筋の収縮を検査する

などが一般的でしょう。

マニアックなプレイなのに一般的という言い方もおかしいかも知れませんが、初めて行う女性にも抵抗が少なく、快感が得やすく、なおかつ「医者と患者」という想像を壊さないプレイということなのです。

実際の産婦人科では、成人女性の場合は触診のほかに膣鏡（クスコ）を挿入して、ライトを当てて奥まで視診します。これを使用すると、膣の行き止まり、閉じている子宮口までを観察することができます。

膣鏡の使用はかなり上級プレイだと思います。女性の心理的な抵抗もあるかも知れませんが、使用には細心の注意が必要です。

膣鏡を入れるときは花卉が閉じた状態でローション等（ウォーターベースのサラサラしたものが適しています。ワセリン状のものが膣鏡に付着すると曇ってしまいます）を塗って挿入します。

抜くときに、決して花卉を閉じてはいけません。開いたまままっすぐに抜去します。膣に入れたまま花卉を閉じると、柔らかい膣内壁を噛んでしまうことがあるので、くれぐれも注意してください。

性感検査では、先にお話した「触診」を行いながら、クリトリスにローターを当てて反応を観察します。

もちろん現実の病院ではこんな検査はしません。妄想の世界の検査です。

「性器の反応を見るために、性行為に使用する器具を使います。実験ですから、声を出したり身動きしたりしないで我慢してくださいね」

と、言ったりすると女性も気分が出るでしょう。もちろん、我慢しろという命令自体が責めで、絶対に我慢できないように感じさせるわけなんですけれどね……。

女性が感じて声を漏らしはじめたら、ボールギャグなどで声を封じてあげると、さらに被虐感を感じて興奮が高まるでしょう。M性の強い女性は、「感じてはいけない」「声を出してはいけない」と言われてから刺激さ



クスコ

れたほうがイキやすくなります。

ボールギャグよりは手に入りにくいかも知れませんが、開口器という器具を販売しているアダルトショップサイトもあります。もともとは口腔外科で使用していた、患者の口を開いたまま固定する装置だそうです。これがあると、医療現場らしさがグッと増します。口を開かせたまま、舌をいじったりすることもできます。

病院のように聴診器や白衣や注射器があるわけではありませんが、それらしい雰囲気を出す工夫は楽しいものです。性感検査を行うときも、彼女が感じて動きはじめたら、

「動いてはいけないと言いましたよね」

と言って、手足を拘束します。「ここで麻縄を持つてくるのは雰囲気壊れるなあ」と思う方には、薬局や百円均一で買える伸縮包帯をお勧めします。

包帯には伸びないものと伸縮するものがありますが、伸縮包帯を使うと縄を使うより簡単に拘束できて、たまたま痛い思いもさせず大変便利です。ただし、時間が経つと軽く鬱血を感じるほど締まってくるので、決して強く引っ張って巻いてはいけません。

例文②0 上級編「君の体のすべての穴を、肉便器に改造します」

医者と患者プレイの上級編は、彼女の体をドクター専用の肉便器に改造する、という妄想です。

その言葉だけを借りて、ふつうにSEXしてもいいと思います。

が、ここでは医療プレイとしてのアナルプレイを考えていきましょう。ある程度の期間、交際している二人が初めてアナルSEXにチャレンジするのに、大人のお医者さんゴッコはピッタリかも知れません。

お尻の穴にかかわるプレイは、女性にとってハードルが高いものです。排泄物や匂いで男性に嫌われてしまうのではないか、と思うと、



開口器

「彼が望んでいるプレイだけど大丈夫？ 嫌われてしまったりしない？」

と、悩むものです。「恥ずかしいからイヤ」と彼女は言うかも知れませんが、その胸の内はもつと切実で、「どんな結果になっても、それで関係が変わったりしない」という安心を求めているのです。

リヨウの提げてきた小さなスーツケースの中身がずっと気になっていた。

ホテルの部屋で二人きりになって、中身を見せてくれた。

今日は特別なプレイをするよ、と聞かされていたから驚きはしなかったけれど、何も言えなかった。何に使うのかわからない器具もあった。

「覚悟はできているよね？」

これまで何度も「お尻の穴も愛したい」とリヨウに言われて、私も私の体は「ぜんぶリヨウのものだよ」って誓ってきた。けれど、結構大きな玉がネックレスのようにつながつたものや、ゴムの栓のようなものを見たら、それをお尻の穴に入れるのかなと思って、やっぱり不安になってしまった。

「どうしたの？ 怖い？」

うん、とうなずくと、後ろからやさしく抱き締めてくれて、二人でスーツケースの中を見ているような格好になった。

「何がこわい？ 教えて」

したことないから、何がどう怖いのかうまく説明できない。でも、一つだけはっきりわかっているのは、「汚いのが……出たらって……」

「うんこを見られるのが怖いだね？」

もう一度うなずいた。うんこ、って……恥ずかしいよ、はっきり言われて。

「じゃあ、最初にお尻の中をきれいにしようか。……それではトイレに行ってきてください」
リヨウったらお医者さんのつもりみたい。

このタイミングで浣腸するのが一般的だと思いますが、それは続く第六章でくわしく解説していきますので、ここではあえて浣腸を使わない展開を考えていきましょう。

初めてのアナルプレイでは、彼女の信頼をどこまで得られるかが重要です。心の底から安心してもらわないと、満足度の高いプレイはできません。それどころか、

「二度とアナルはイヤ！」

と、辛い体験として彼女の心の傷になってしまう可能性もあります。

そうならないために、プレイをはじめめる前にコンセンサスを図っておかなければならないポイントは四つあります。

- ①どちらかが無理だと思ったら、即座に中止する。
- ②彼女からの「NGサイン」を決めておく。
- ③写真や動画は撮らない。
- ④彼女がチャレンジしてくれたことだけで、あなたはすでに100%満足していることを彼女に伝える。

男性が考えている以上に、女性は初めての行為に緊張します。マイナスのイメージに支配されがちです。気楽にさせようと冗談を言い過ぎたり、

「前に付き合った女の子も、最初はイヤがっていたけど、アナル大好きになって、お尻の穴で何度もイッたんだよ〜」

などと戦歴を披露するのも、まずいい結果にはつながりません。

「一人一人ちがうのよ、私には無理……」

と、しよげてしまうかも知れませんが、悲しいを通り越して、

「じゃあ、その人とすればいいじゃない？ アナルができれば誰でもいいんじゃない？」

と、あなたに対して不快感を抱いてしまうこともあり得ます。

今挙げた中の④はとて大切なことなのです。

彼女がハードルを跳び越えられるよう、手助けしてあげることは必要ですが、無理に背中を押ししてもうまく跳ぶことはできません。今日できなかったら、またこの次でいいのです。

「またやってみてもいいかも……」

という前向きな気持ちになってもらうことが大切です。

女性の不安を取り除き、未知の快感を楽しんでもらえるように、やさしくリードしていきましょう。あなたが「先生」になって、アナルプレイのための前戯を大人のお医者さんゴッコでやってみます。

トイレから戻ると、ベッドにバスタオルが敷いてあって、

「ここに寝てください」

と、リヨウが言った。何となく、アナルつて四つん這いですると思っていたので意外な感じがした。

「それではアヌスの周りから診察しますね」

と言いながら、リヨウは右手にだけクリーム色っぽい薄いゴムの手袋をつけた。なんだか本当に病院っぽい。お尻の穴が左右に軽く引つ張られる。外気にふれたことのない粘膜に風が当たる感じ……！

きつとそこは肛門の内側よね？ ああ……恥ずかしい！

「脚を閉じないでください」

「だって……」

何かついてもるかも知れないじゃない……？ 匂いだってしているかも……！

「きれいになっていますよ。安心して、力を抜いてください」

リヨウはニッコリして、手袋をしていないほうの左手で私の右手を握ってきた。

「恥ずかしいよ……」

「では目を閉じて、ゆっくりお腹で呼吸してください」
言うとおりにした。

「ちよっと冷たいですよ……」

お尻の穴に不思議な感触があって、リヨウの指がローションを塗りつけているのがわかった。塗り終わっ

でも、ずっと円を描くようにしている。

「だんだん柔らかくなってきますよ……さあ、ゆっくり大きな息をして……」
マッサージされてるんだ……恥ずかしい穴のまわりを……！」

アナルプレイの最初にはマッサージが欠かせません。排便以外で開いたことのないアヌスに、指やペニスを入れることができるようにするためには、肛門括約筋にたっぷり柔軟運動をさせてあげる必要があります。

女性がくすぐったくならないように、ある程度の圧力で指を押しつけ、ローションを薄く塗り伸ばしながらリズミカルに行います。

お医者さんらしく、ここで問診をしてもいいかも知れませんね。痔疾がないかどうか、聞いておいたほうがいいでしょう。痔疾のある人のアナルに何かを挿入することは無理ですし、危険です。

女性は出産を機に痔にかかる人も多く、気づかずに痔主になりかけていることもあります。何とか軽症で済ましているものを、アナルプレイで肛門科を受診するはめになったら本当にかわいそうですから、気をつけてあげてください。

もし、彼女が痔らしいとわかったら、プレイはアナルマッサージまでにとどめておきます。アナルをマッサージしながらローターやバイブでイカせてあげるだけでも、「いつもとちがう満足」はきつと得られます。

マッサージに少し慣れて、リョウの指が動くのにまかせていたら、

「では、思いつきり力を抜いてください。思いつきり息を吐いて……1、2、3」

「あっっ！」

「力を入れないで、楽にしてください」

お尻の穴が熱くなった気がした。リョウの指が、私のお尻の穴に入ってる……！」

「やっぱり、ムリっ……！」

思わず目を開いたら、リョウはニッコリ微笑んでいた。

「わかった。もう、これ以上挿れない。指も絶対動かさないから、もう少しこのままにしている」

「う、うん……」

ホントにこれ以上はダメだから、ムリだから、このままにしていよ！

私は必死な顔をしていたんだと思う。リヨウはまたニッコリした。

「ねえ、すごく変な感じ……」

「どんな？」

「な、何か出ちやいそうな感じ……」

痛みの代わりに、こんどはウンチが出るときのあの感じがしてる。

もしかして、出かかっているのでは……!? NGサインを伝えて、トイレに行ったほうがいいのかも……いいえ、やっぱりアナルは無理なのかも……。

肛門は、何かを出す感覚を記憶していますが、異物が入ってくることは、ふだんの生活では皆無です。そのため、指などを挿入すると、「出そうとしている」と錯覚してしまうのです。

何度もアナルプレイを経験して、「入っているのであって、出しているのではない」ということを理屈で理解しないと、克服できない感覚です。彼女にアナルプレイを行う前に、男性の方も自分のアヌスに指を挿れてみると、この感覚がわかるかも知れません。

「ウンチが出てしまうのではないか!？」と、パニックになる女性が多いので、絶対に大丈夫だと安心させてあげてください。

「出ていないから大丈夫。僕がちゃんと見ているから、心配しなくていいよ」

「でも……でも、汚いの……だから……」

「手袋しているから安心して」

ああ、そうだった。動転して、忘れてた。痛いのも忘れてた。

「ゆっくり、挿れるからね」

「リヨウ……痛いっ……」

「もうこれ以上挿れないよ。だから力を抜いて。痛くなくなるまでジツとしてようね」
まるで小児科あつかい。でも、ほんとにスーッと血の気が引くような痛みだった。
お願いだから、もう1ミリも動かさないで！

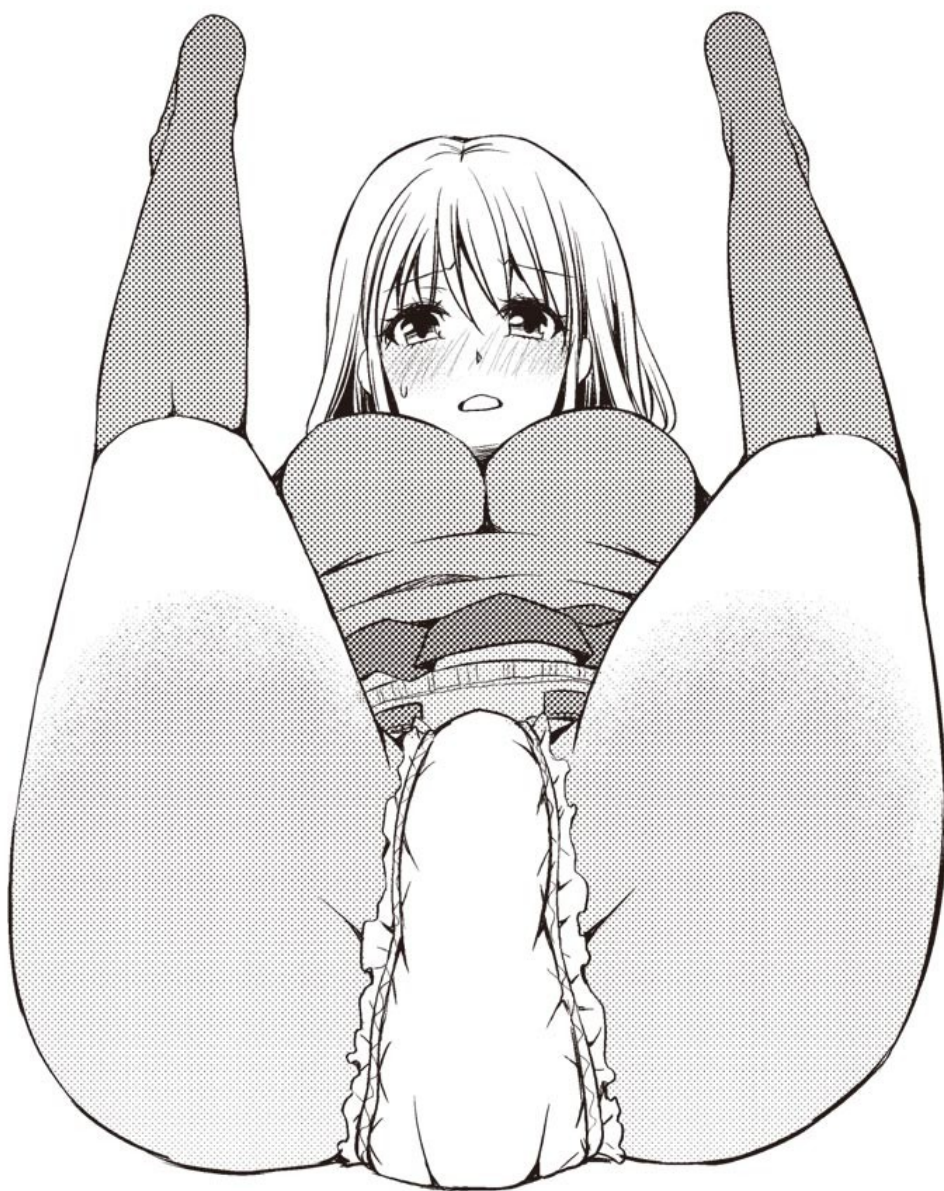
具体的に「もうこれ以上」とはどれぐらいかと言うと、指の第一関節までです。第一関節までを入れて、そのままジツと動かさないのがアナルプレイ1日目の目標です。彼女に余裕があるように見えても、先を急いではいけません。

- × 挿れた指をグルグル回す
- × 出し入れする
- × 二本以上、挿れようとする

いずれも、最初の日には絶対にしてはいけないことです。せっかく入ったのだから……と、先に進みたい気持ちはよくわかるのですが、ここで目指すのは第一関節までをしばらく挿れていること、それだけです。

少しでも長く、無理なく挿れていることで、

- 挿入状態でゆったり呼吸できるようになる
- 肛門括約筋がリラックスする
- 内部の筋肉が柔らかくなる
- アヌスの刺激が膣側に伝わる



というように、いずれアヌスにペニスを挿入するために必要な準備ができていきます。この状態がイヤなものではなく、気持ちいいものだとして彼女の体に覚えさせることも重要です。

脂汗が出るような緊張が薄れてきて、だんだんお尻の穴に入っているリヨウの指の形がわかるようになってきた。

本当に入っているんだね、後ろの穴に――。

「よくがんばったね。今日の治療はここまでです。実花ちゃんにご褒美あげなくちゃね」
「えっ……」

治療はここまでって言ったのに、リヨウの指は入ったままで、どこから取り出したのか、リヨウは私のクリトリスにローターを当ててきた。

「やっ、だめっ……」

私はすぐくローターに弱いから、当てられると足の先まで突っ張ってしまっ。

「くぅっ」

変な声も出ちゃう。

「気持ちいいの？」

「き、気持ちいい……っ」



いつもの癖でリヨウの腕につかまる。自分の体なのに下半身だけ勝手にピクピクしはじめて、もういつでもイッてしまいそう。

「お尻の穴に指を突っ込まれているのに、気持ちいいの？」

「そ、そんな……っ」

リヨウに言われてビックリする。あんなに抵抗あったのに、お尻の穴の変な感覚も忘れてた。

「実花ちゃんはきつと、お尻でイク子なんだね」

「ち、ちがう〜」

「ちがうの？　じゃあ、絶対にイッちゃダメだよ？」

言いながら、リヨウはローターのスイッチを強に切り替えた。リヨウのいじわる……！

お尻を責められているのに感じていることを彼女に意識させるために、ちよつと言葉責めします。

また、確実にイキそうだとわかっているときに、「イッちゃダメ」と禁止命令を出しておく、女性のエクスタシーは増幅します。「イッてはいけないのに、禁を犯してイッてしまう」という背徳感のせいもありますし、イカないようにしようと下半身の筋肉を緊張させるため、かえってイキやすくなるということもあるようです。

「ああっ……もうダメ、イッちやう」

「イッちゃダメって言ったのにイクんだ」

「ダメって言われたのに……イクの……イッちやうのおおお！」

頭のとっぺんからリヨウの指が入っているお尻の穴まで、電流が流れたような感じがした。

……気がつくと、いつの間にかリヨウは手袋を脱ぎ捨てていて、いつものように抱き締めてくれた。

「イッちやうたね、お尻の穴で」

「えっ……うん……」

「実花ちゃんの体を改造するよ、お尻でSEXできるように」

今日は指だっただけで、いずれはおち○ちんを挿れるっていうこと……？　さっきの指がもつと太くなる

だけって想像してみるけれど、やっぱりまだ怖い。思わずリヨウの首に腕を回してしがみつく。

「実花ちゃんの全部の穴……僕の精液を出す便器にするからね」

「そんな……あ」

「心配しないでいいよ。すごく気持ちよくなるように、お尻の穴も改造していくよ」

言いながらリヨウのおち○ちんがオマ○コに入ってきた。すごく硬かった。

私のお尻を訓練しながら、リヨウも感じていてくれたんだ。

初回のアナルプレイは、ここまですが無理なくできる範囲でしょう。

最終目標はペニスを挿れてアヌス内に射精することですが、そこまでの訓練過程もたっぷり楽しんで進めます。指の第一関節までがクリアできたら、次に抵抗なく挿入できるのは「アナルパール（アナルビーズ）」や、太さの違う三本セットになった柔らかい素材の「アナルスティック」です。いずれも激しく出し入れするのではなく、アヌスが開いた状態に慣れさせるために使います。

アナルパールは決して一気に引っ張って抜かないこと。パールと糸の間の「遊び」に直腸粘膜をはさんでしまつと痛いんです。ゆっくり一玉一玉の形を意識させて抜いていくと、絶好のアナル調教になります。

さきにふれた「ウンチが出ちゃいそうな感じ」という錯覚も克服できますし、アヌスを異物が通過する快感を開発できます。可能であれば、プレイできない日など、アナルスティックやアナルパールを渡しておいて、オナニー報告させるのもいいと思います。

アナルスティックは細いものから太いものへと、抵抗なくアヌスを拡張するのに便利です。素材が柔らかくしなるので、尻尾のように垂らしておくこともできます。

より医療プレイらしく演出するには「拡張ブジーセット」を使うといいでしょう。もともとはハードなマニアの方が尿道拡張に使用したものと聞いていますが、アヌスの拡張にも使えます。

医療用ステンレスで作られており、最も細いものは直径3ミリ、最も太いものが18ミリで、8本のブジーで16段階の直径を持たせてあります。



拡張ブジーセット



アナルパール

あくまでアヌスの径を拡げるために使用するもので、奥まで入れるような使い方は絶対にしないでください。これに限らずですが、病院プレイを楽しむのはいいのですが、現実には病院に行くような事態にならないよう、くれぐれも気をつけましょう。せっかくなので築いた信頼が台無しになってしまいます。

アヌスに使用した器具には便や直腸粘液がついています。まず石鹸と水で洗い流し、そのあとで消毒をします。消毒方法にはいろいろあります。有効なものや無効なものがあるので、気をつけて行ってください。

×消毒綿で拭く……一瞬、拭いただけでは滅菌できません。一枚ずつパッケージされた消毒綿は携行に便利ですが、器具の消毒はできません。プレイ中に手指を拭く、アヌスを舐める前に拭く、などに使うのがよいでしょう。

×エタノール等に浸す……消毒方法としては効果の高いものですが、アルコールが付着したまま膣やアヌスに入れるとピリピリと刺激を覚えることがあります。また、アルコールにアレルギーを持っている人もいますので、避けたほうがいいでしょう。

△煮沸する……鍋にお湯を沸騰させた中に入れ、15分以上煮沸します。アナルブジーやクスコなどはこの方法が確実です。

○ミルトン消毒する……煮沸すると変形してしまう素材のものは、この方法が便利です。薬局で売っている、哺乳瓶消毒用の液（ミルトン消毒液等）を買ってきて、規定量に水で薄めて器具をつけ置きます。電池部分のあるバイブなども、先端だけをつけておくことができるので便利です。

汚れやほこりの付着した器具を体につけたり、入れたりされることは、女性にとって不安と恐怖でしかありません。女性の信頼をなくさないよう、ちよつと神経を配って安全なプレイを心がけていきましょう。

アナルプレイの最終段階はペニスの挿入、アナルSEXになるでしょう。

これについては、続く第六章「私の飼い主になってください」の上級編で詳しく解説したいと思います。

第六章

私の飼い主になってください…。

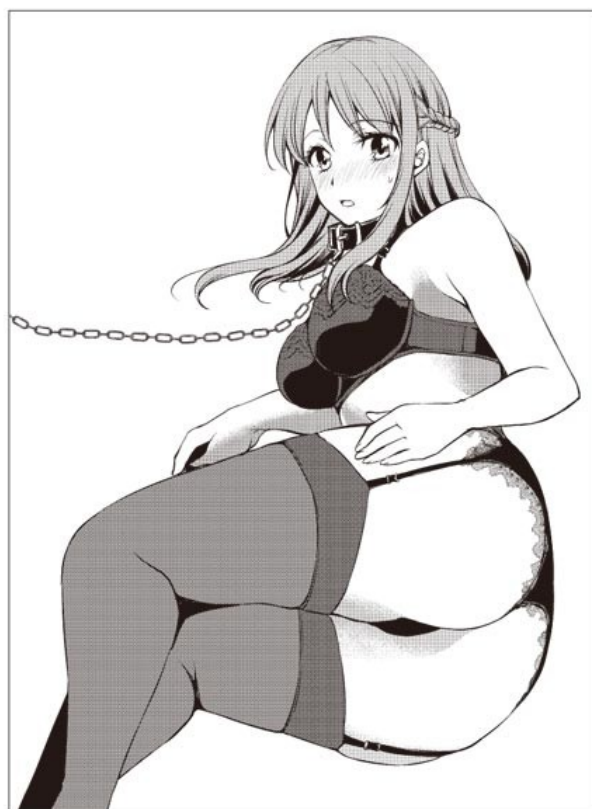
例文⑲ 入門編「首輪をつけて僕のペットにしてあげる」

例文⑳ 初級編「ワンコはアソコを隠したりしちゃダメだよ」

例文㉑ 中級編「ご褒美をあげようと思ったけど今日は罰だな」

例文㉒ 上級編「お腹の中までご主人様に見せてごらん」

例文㉓ 上級編「君は交尾のために飼われているペットなんだよ」



第六章

私の飼い主になってください…。



例文②1 入門編「首輪をつけて僕のペットにしてあげる」

好きな人のペットになる――。

今も昔も女の子の好むファンタジーです。ペットとして可愛がられる、お世話をされる……そんな自分を思い描いてエッチな妄想に発展していくことは、多くの女性が経験していると思います。

それだけにこのテーマでは、積極的に彼女のM性を刺激していきましょう。これまでなかなか踏み出せないでいたSMプレイを始めるのにも、精神的な主従関係を築くのにも、

「僕のペットになって」

という一言からのスタートはとてもスムーズです。

スムーズとは、女性にとって抵抗が少なく、不安やストレスが少なく、常に愛情を感じながらプレイできる……という意味です。

いつも通る駅前のショッピングセンターがセールになっていたので、透とブラブラする。

お給料日前だから靴や服はあきらめて、アクセサリーでも買おうかな、と鏡の前でいろいろつけて見ていた。透もいっしょに鏡を覗きこんでいる。どうせ買うなら、透が好きなのにしようかな。

「ねえ、どっちがいいと思う?」

「絶対こっちがいいよ」

透が即答したチョーカーの幅は2センチくらいあって、首がほっそり長く見える。

「じゃあ、これにするね!」

レジでお金を払おうとしたら、透がスツと千円札を出してきた。

「えっ、買ってくれるの?」

「気に入ったからプレゼントしてあげる。そのかわり、すぐつけてほしいな」

「うん!」

高いものじゃなくても透が選んで買ってくれたと思うとうれしい。カフェで向かい合って座ると、透はチョーカーをつけた私を嬉しそうに見ていた。

「すごく可愛い。首輪みたい」

「えっ、犬みたい……ってこと?」

「僕のペットみたいってことだよ」

透に正面から見つめられて、どこ見ていいのかわかんない。うれしくて、恥ずかしい。

彼女のM性を育むプレゼントとして、首輪っぽいチョーカー、セクシーな下着、ガーターベルト&ガーターストッキングなどはピタリだと思います。

もし女性が密かに「Mとして扱われたいな」と思っている場合、いきなり「スパンキングしてもいい?」「四つん這いでホテルの廊下を散歩させたいな」と言われるより、ファッションから入るほうが緊張せずに楽しんでくれるはずです。逆に、女性がMっぽく見られることを嫌がった場合も、プレイ的なことは何も言っていないので、元の雰囲気に戻れます。

愛情を感じられる相手と、ほかの女性とは共有できないであろう行為や感覚を共にすること——それがアブノーマルなSEXやSMの本質です。

「彼が提案している行為は、普通はしないことだけど……私にだけ、一緒にしたいと言ってってくれるんだ。私が愛していることを信じてくれてるんだ」

彼女に、そのような前向きな気持ちを持ってもらえるように、細心の注意を払いましょう。一般的な性行為以上のものを共にしたいと望むのならば、女性をその気にさせるコツはただ一つです。

「そういう行為はしたくない、生理的に受け付けない」

と言われるかも知れませんが、それによって自分のプライドが傷つくことを恐れてはいけません。傷つくのは、愛する男性（あなたのことですよ！）の希望に応えることのできない彼女のほうなのです。

「いかにして、彼女を傷つけないで自分の希望を伝えるか」というふうを考えることです。

「可愛い……！ほんとにペットみたい！」

どうしたんだろう、今日の透。そんなにこのチョーカーを気に入ってくれたの？

「来月、誕生日だね。本物の犬の首輪をプレゼントしたいな」

「私に……つけるの？」

「うん。つけてほしい。いや？」

「別に……いやじゃないけど……」

その夜、透の部屋で、チョーカー一つの裸でSEXした。鏡の前でバックで入れながら、透は私の髪をつかんで顔を上げさせる。繋がっている姿がいやでも見えてしまう……。

「これが首輪になったら……いいな」

鏡の中の自分が真つ赤な犬の首輪をして、透がリードを持っているところを想像してみた。

自分のほうが下の存在になるのは、どうしてだろう、何だか恥ずかしい。

でも、そうになったら、透の所有物になったみたいな気分になれるかな……。

なりたくない……。透のモノになって透に甘えたい。

人間の性は自由です。そこに愛情があるならば、基本的には何をしたらいいのです。繁殖期すら不定になつてしまった人間の性行為は、すべてがアブノーマルであると言っても過言ではありません。

フェティシズムはこれからも多様化を続けていくでしょう。人間が文明を捨てられない動物である限り、ど

んな変わったことに興奮したとしても不思議はないのです。

ただし、性の世界を楽しむ自由は、それを見たくない・したくない人の自由に常に道を譲らなければいけません。愛する人を絶対に傷つけないという信念があれば、彼女はきつとついてきてくれます。そして、他の人とは共有できない性癖と一緒に楽しむことのできる、最高のパートナーになってくれるでしょう。

例文②② 初級編 「ワンコはアソコを隠したりしちやダメだよ」

ゼロ年代の頃、密かにM女性の独白サイトが流行したことがありました。ブログが流行する前、レンタル日記から発展したものが多数でした。

最初は「ご主人様ができた喜びを人知れず綴る日記」だったのが、新着ランキングに掲載されるようになると、ほかの女性の日記を読むようになり、コメントを送り合ったり淡い



交流も生まれてきます。

掲示板や、ご主人様に撮ってもらった写真（一般女性が書いているので顔を隠した写真が多く、それがまた良い雰囲気醸し出してた）のギャラリーなどもリンクさせるようになっていきました。

このM女社交界はなかなか賑わっていました。特に同じM女性から羨望のため息をもって閲覧されていたのが、ご主人様にいただいた首輪の写真でした。

今はなくなってしまいましたが、皮革をピカピカのグラス仕上げに磨き、ブランドバッグのようなカデナを配したイタリア製の高価なものもありました。また、ジェラルミンのようなルックスの、頑丈な錠前を備えた金属製の首輪もあります。

鞭だ蠟燭だ……は人によって好みが分かれますが、首輪はすべてのM女性の象徴のように迎え入れられたのです。一般の若い女性が婚約指輪に憧れるように、M女性は首輪を贈られることに憧れたのです。

彼女が首輪をつけることに慣れてきたら、いよいよペット扱いの度合いを高めていきます。

可愛がる



世話をする



訓練、調教する

という流れでSMプレイの要素を採り入れていきます。女性が抵抗を感じすぎて挫けそうになったら、いつでも振り出しの「可愛がる」に戻りましょう。

いつものラブホテルで透と過ごす日は、必ず首輪をつけてもらう。

透の手でつけてもらうことが大事な気がする。……透が彼氏からご主人様になる瞬間だから。



首輪

「待ってなさい」

透がシャワーを浴びている間、裸に首輪だけつけて、バスルームの前でわんこのように座って待っていた。「もっと膝を開いて。本当の犬みたいに。もっと胸を張って……」

恥ずかしいところが丸見えになっちゃう。そのまま5分ぐらい待っていると、おいで、と中に招かれる。私はもちろん……四つん這いで入っていく。

透はボディソープをいっぱい泡立てて私の体を洗う。おっぱいも、アソコも……。思わず足を閉じそうになって、透の手でヒップをぱちんと叩かれる。痛くはないけれど、子供みたいで恥ずかしい。

「それじゃ洗えないよ」

「だって……」

「全部僕のものでしょ？ 勝手に隠したりしちゃダメだよ」

「は……いい」

褌の中やクリトリスの根元まで、透の指は伸びてくる。

自分でも触ったことのないところにも……敏感すぎて怖くて触れないところにも……。

透は冷静なのに、私だけ恥ずかしい声が漏れてしまう。

女の子の体を洗ってあげる時は、爪が伸びていないか、ボディソープの刺激が強すぎないか、気をつけます。ラビアやクリトリスに爪を立てないよう、指の腹をすべらせるようにして洗ってみましょう。

恥ずかしいが彼女は、背後から抱きかかえる体勢で。少し大胆になったほうが興奮する彼女なら、その姿を鏡に映して洗っていきます。

指を当てる強さは、絹ごし豆腐に指でマヨネーズを塗り広げている感じ、を想像してみてください。これがいちばん女性がリラックスして身を任せられる強度です。すぐに快感に変わり、濡れてくる女性もいるでしょう。バストや局部を洗うことが前戯になります。

また、シャワーで洗い流すことも前戯になります。多くの女性はアソコにシャワーを当ててオナニーした経験があります。脚を開かせてシャワーを当てているだけでイッてしまうかも知れません。

例文②3 中級編 「ご褒美をあげようと思ったけど今日は罰だな」

時には、とことん飼い主と愛犬の設定でプレイしてみましよう。

ふだんのSEXや食事に、「愛する彼女を犬として扱う」妄想をプラスして、刺激的な時間を演出します。

ドキドキしたり、恥ずかしがったり、思いきり自由になったり……いつものSEXにはない表情を見せてくれることでしょう。

せっかく首輪をつけたのですから、食卓でも彼女はあなたの足元に座らせて、あなたの手のひらから食事させるのも良いプレイになります。バリエーションとして、あなたが咀嚼したものを口移しに食べさせるというプレイもあります。

このようなプレイを私は食餌プレイと呼んでいます。本当に愛し合っている間柄でなければできない、親密な行為です。ご主人様から愛犬への「ご褒美」として行うといい感じになりますね。

首輪をつけているあいだはトイレを使わず、ご主人様の見ている前で排泄する、というのも好んで行われるプレイです。洗面器やバケツを置いてまたがらせ、オシッコをさせます。

これはご褒美の反対、「罰」ですね。第四章のパパからの罰とはちがって、ワンちゃんとして受ける罰ですから、「犬らしく脚を上げてオシッコしなさい」

なんていうプレイにもなります。羞恥心をたっぷり刺激します。

オシッコをさせます、と書きましたが、現実にはこれがなかなか難しいのです。人間の意識下に刷り込まれたタブーの感覚はそうそう簡単にスイッチオフできるものではなく、オシッコを出そうとしているのに出ない、という状態に陥ることがあります。

もし、彼女が羞恥のあまりなかなか排尿できなくても、きつく叱らずに見守ってあげましよう。この状態で

ローターを当てたり、指を挿れてGスポットを刺激するのもいいでしょう。反射的に潮を噴くこともあると思います。

愛犬プレイの「ご褒美」と「罰」は、どちらもご主人様からの愛情表現です。

たとえばご褒美としてクンニをしてあげたり、ローターや電マで感じさせてあげるのもいいと思います。

女性は感じすぎると反射的に、

「もうダメえ〜」

「お願い、やめて」

などと言ったりしますが、ここを突破するとエクスタシーに達することが多いのです。逆に言うと、ここで理性が働いて引き返してしまうのでイケなかったり、オナニーのようなイキ方で終わってしまったりします。

逆に罰の与え方ですが、内容は何でもいいと思います。女性を苛めるためにするのではなく、それまでできなかった新しいプレイに挑戦させるキッカケとして利用します。

軽いものではスパンキング、彼女が恥



ずかしがる体位でのSEX、ローター・電マ・バイブ、窓辺に立たせての擬似露出プレイ（ホテルの高層階など、外からは見えないのに、オープンエアの中で四方八方から視られていると錯覚できます）などがいいでしょう。鞭や蠟燭、流湯などはハードな罰に入ります。彼女との関係の深さ、これまでしてきたプレイに応じて罰の内容は慎重に考えましょう。ご褒美でも罰でも、最終目的は彼女をイキ狂わせることにあるので、実はどちらも同じなのです。

ご褒美をもらうという甘える気分のほうがいい場合もあれば、許してもらえない……という追いつめられた気持ちのほうが彼女が興奮する場合があります。そこを見極めるのがSMやプレイの醍醐味なのであり、女性はそこをうまくスイッチしてくれるパートナーからは離れられなくなっていくます。

「罰」を「お仕置き」「躰」「折檻」などと呼び替えることもあります。女性は言葉でも興奮を誘われるので、言い方を変えて彼女の反応を楽しみましょう。

フェティッシュなプレイやSMプレイのパートナーに女性を選ぶのは、プロの調教師や緊縛師のような技術を持った人ではありません。どうされたいか——甘えたいのか、怖いぐらいドキドキしたいのか——を感じ取ってくれる人です。鞭や縄の扱いはそんなに上手なくても、ちよつとした言葉遣いで興奮を高めてくれる人です。このことは、どうか忘れないでください。

例文②4 上級編「お腹の中までご主人様に見せてごらん」

中級編ではご主人様の目の前でオシッコをするプレイについて書きました。

「ではウンチも……」というお話になると思うのですが、女性にとって、好きな男性の前で大きいほうを出すというのは心理的にむずかしいでしょう。あくまでペットのお世話としてオシッコ・ウンチの管理をする妄想で、羞恥する彼女の排泄姿を愛でましょう。



鞭

愛犬プレイ、ペットプレイでは、浣腸して強制排便させたほうがスムーズです。第五章のお医者さんプレイの中でするのもいいでしょう。

男性があらかじめ知識を持っていれば、強制排泄は女性の妄想を掻き立てる刺激的なプレイです。アナルSEXの前段階としても重要です。しっかりと浣腸して直腸内をきれいにしておけば、アナルSEXをしたときにペニスに便がついてきて、彼女が動揺するほど恥ずかしい思いをする……という事態も避けられます。

まれに、母親から無理やりイチジク浣腸などをされた記憶があつて、どうしても抵抗がある、という女性もいます。その場合は無理しないほうがいいでしょう。ウンチをする要領でいきんでお尻の穴を開き、そこにシヤワーを当てるだけでもいいと思います。

自然排便ではどうしてもウンチの匂いが立ちこめてしまいますが、浣腸した場合はお湯と一緒に出てくるため、やや匂いが抑えられます。女性にとって便の匂いはとても恥ずかしいことなので、よく説明してあげてください。

「今日はお腹の中までご主人様に見せてごらん……」

と、初めての排便プレイをするなら、いちばん手頃なのはどこの薬局でも買えるイチジク浣腸でしょう。

成人の一回量、30ccが入ったデイスポーズブルです。お風呂ぐらいの温度のお湯につけて温めておいて使います。注入後、三分ほどがまんしてから排便するのが基本です。

でも、初めての浣腸では、漏らしたらどうしよう……とパニックになる女性も多いので、無理に三分がまんしなくてもいいと思います。分量も半分にして、二回に分けて浣腸してもいいでしょう。使いかけのものは保管せず、その日のうちに使い切ります。

また、たくさん排便させたい、噴射するような排泄が見たい、と何個も注入することは禁物です。浣腸の中身はグリセリン溶液という薬品です。使いすぎると、時間が経ってからお腹が痛くなったりするので注意が必要です。

アダルトビデオなどで見られる噴射するような排泄の中身は微温湯です。つまり微温湯で浣腸しているのです。微温湯を浣腸するにはエネマシリンジというゴムのポンプを使います。洗面器に微温湯を入れ、エネマシリ

エネマシリンジ



ンジの穴だけの側を洗面器に入れ、真ん中の握り玉を握って空気を抜きます。そのまま白い端をアヌスに入れて握ると、程よい圧力で微温湯が直腸内に入っていきます。微温湯の温度は体温ぐらい、お風呂のお湯より一段ぬるいと感じる程度にします。分量は最高でも1000mlまでにしましょう。

イルリガートルは、さらにもものしい雰囲気であ想像プレイにはぴったりです。ベッドに寝かされて手足を拘束され、点滴のように一滴ずつ浣腸液を注入される——そんな場面を演出できます。

大きなカップ内に微温湯を入れ、点滴のように吊り下げ、嘴管をアヌスに入れると自動的に浣腸されます。絶対に守らなければならぬのが吊り下げる位置で、肛門から5センチまでの高さに固定しなければなりません。それ以上高くすると注入速度が速くなって危険です。実際にそれが原因で気持ち悪くなり、気を失った人を見たことがあります。必ず守ってください。

こちらはガラス製の浣腸器です。容量が豊富なのと、清潔に洗えるのが良いところです。お鍋に入れて15分以上煮沸すれば殺菌もできます。見た目もドラマティックであ想像欲を充たしてくれます。

気をつけなければならぬのは大変割れやすいところです。先端をどこかにつけると、必ずと言っていいほど割れます。女性に怪我をさせることもあるので、くれぐれも取扱いに気をつけてください。

浣腸は恥ずかしさを伴うばかりでなく、体力を奪います。「よくがんばったね」とご褒美をあげるとともに、水分補給なども忘れないようにしましょう。

例文②5 上級編 「君は交尾のために飼われているペットなんだよ」

可愛い首輪をつけられる妄想からすると、かなりハードなイメージです。しかし、女性は密かにかなり激しい妄想をしていることがあります。



よく男性から聞く、悩みというかグチというか(笑)に、

「俺たちがスケベなことを言うとな怒るくせに、女が読んでいるレディコミの内容はえげつなくてついていけないほどだ！」

というのがあります。

その通りなんです。実は女性は被虐的な妄想が大好きです。男性の妄想は「日常生活の延長世界」であり「安心して射精できる状況」である、という特徴があります。

女性のそれには、そのようなタガがありません。あくまで「これは空想」として楽しんでいるので、現実には困るようなことも思い描きます。

強引にレイプされたり、痴漢されたり……もちろん、現実になんな目に遭いたい女性はいません。それなのに女性のオナニーの興奮材料としてはポピュラーなのです。

Mの自覚のある女性だと、もっと凄いいことも考えます。二十四時間監禁されるとか、ご主人様の好きなように肉体を改造されるとか……。

それらの過激な妄想は、女性が現実にはされたいことではないのです。M女性がオナニーのときに繰り返し想像しているのは、抵抗できない自分、かわいそうな自分であり、その被虐的な気分浸ってみたいだけなのです。リアルなプレイの中で、彼女にそんな被虐の気分を味わわせる最高のプレイはアナルSEXではないでしょうか。女性にとってアナルバーズンを捧げることは、ヴァギナの純潔を捧げる以上に意味のある行為ですから。

M性を自覚していない女性でも、思わずマゾヒスティックな心情に誘われることでしょう。

透の手で体中を洗われて、乳首もクリトリスもカチカチに硬くなってしまった。

でも、まだ終わりじゃなかった。

「バスタブの縁につかまって、四つん這いになってごらん」

オマ○コがきれいになったかどうか検査するのだと思って、私は言われたとおりにした。

「あっ……！」

「動いちゃダメだ」

「お願い、そこは汚いから……」

「汚いから洗ってあげるんじゃないか」

透の指先が私のお尻の穴の周りを、円を描くようにして洗ってくれた。でも、すぐに透の指が目指しているところがわかって、私はあわてた。

「ほんとに、やめて……」

「シート、ご主人様の言うことが聞けないの？」

アヌスの拡張はバスルームで行うとスムーズにできることがあります。

①排泄物が出てしまってもすぐに始末できるので、女性がリラックスできる

②バスタブで温まった後だと、アヌス周りの筋肉もほぐれやすい

③拡張に使用したローションやボディソープでベタベタになっても、シャワーで洗い落せる

初めてのアナルSEXに挑戦するなら、前戯をかねてバスルームで拡張しておくといいでしょう。

前からしたいと言われていたし、覚悟はしていたけれど……やっぱり痛そうだし、恥ずかしい。

「今日はお尻の穴でするからね」

「ああっ！」

透の指先がツルンと後ろの穴の中にすべりこんできた。すごく、すごく無理やり広げられている感じがする。

「やっぱり無理、痛い……！」

「無理じゃない。力を抜いて、ゆっくり深く呼吸して。そう……ほら、アヌスが柔らかくなってきた」

お尻の穴が、すごく熱くなっている感じがする。

「お願い、ほんとに無理なの……」

「大丈夫。ケガさせるようなことはしないから。ゆっくりやろう」

どうして……？ どうしてこんな痛い思いをして、透だって汚れるのに指を挿れたりして……なんのためにこんなにしなくちゃいけないのかな……。

挫けそうになった時、透が後ろから私を抱き寄せた。お尻に指を挿れたまま……。

「……綾香の、初めてが欲しい」

初めての、誰にも許したくない大切な場所。

透の指がスツと出て行って、もっと熱くて大きなものが押しつけられた。

「……やさしく、して」

「やさしくするよ……僕のペットだから」

硬いものがお尻の穴をグーッと開いてくる。痛い……と言うより熱か

った。透のペニスは灼けた鉄のように熱くて、まっすぐ中に入ってきた。

「ああ……お尻の穴が……苦しい」

「我慢して……綾香は、いつでも、どの穴でも交尾できるペットになったんだよ」

初めてのアナルは非常に痛いです。

排便時にしか開いたことのない肛門括約筋を無理に拡げるのですから、傷めないように注意が必要です。

一度挿入した指やアナルスティックを抜くと、瞬時にアヌスは元のように閉じます。そこに再び挿入しようとすると、苦痛を繰り返すこととなります。

「何度も出し入れ」「ピストン運動」



は女性がアナルプレイを嫌いになる原因になります。

基本は「ステイ」です。指を挿れたらそのままジツと動かさないでいます。三分ほど経つと、アヌスを締めつける力が弱くなり、括約筋が柔らかくなったように感じます。第五章でも書きましたが、この状態でクリトリスをローターなどで刺激してあげると、アヌスはさらに緩まってくれます。拡張していた指やスティックを抜いて、いよいよペニスを挿入します。

①ペニスにはたっぷりローションをつける。

②体位は次の二つから、女性の抵抗がないほうを選ぶ。

・四つん這いでバックから挿れる……ペニスを挿れる角度が調整しやすいです。

・屈曲位で挿れる……目を見て挿入できるので女性が安心しやすいです。体が固い女性の場合は腰の下に枕を入れて補助してあげましょう。

③指を第一関節まで挿れて角度を確かめ、ペニスをアヌスにあてがう。

④カリ首がすっぽり収まる位置まで一気に挿入する。

・ローションでスムーズに入ったからと言って、ペニスの根元まで入れないようにします。

⑤そのまま動かさないで一〜三分ジツとしている。

・この時間が非常に重要です！ この一〜三分間で、女性がアナル好きになるか嫌いになるかが決まります。女性にとって最も苦痛なのは、太いカリ首を出し入れされて、何度もアヌスを押し抜けられることなのです。アヌスにペニスを挿入すると、ミリミリと音がするように感じます。しかし、そのままアヌス内でジツとしてあげると、ガチガチに緊張していたアヌスがじんわりと柔らかくなり、リラックスしていくのがわかります。あなたの怒張を受け容れてくれている彼女が、最高に愛しく感じられる瞬間でもあります。

ここから先は私が例文を書く必要はありませんね。アヌスを捧げてくれた彼女に、あなたの感謝と愛情を伝えましょう。この三分間は、二人にとって永遠に忘れられない時間となるかも知れません。

事後は思いっきりご褒美を。彼女のアヌスにキスしてあげる、舐めてあげるなどいいでしょう。

第七章

私をあなたの 人形にしてください…。

例文②⑥ 入門編「人形は何をされても動いちゃダメだよ」

例文②⑦ 初級編「僕の好み通りの人形になりなさい」

例文②⑧ 中級編「僕の人形をみんなに自慢したいんだ」

例文②⑨ 上級編「皆さんに僕の人形を貸し出します……」



第七章

私をあなたの人形にしてください…。



例文②6 入門編「人形は何をされても動いちやダメだよ」

人形になりたいという願望は、ほとんどの女性が一度は抱いたことがあると思います。

幼い女の子どうしは、かわりばんこに「人形」になって、もう一人が「人形」を可愛がるという遊びをします。髪を巻いてリボンで結んであげたり、色鉛筆でお化粧の真似事をしてあげたり。

色鉛筆でいくら顔を塗ってみても色はつかないのですが、繰り返しまぶたをこすられているとウツトリしたものです。それがきっかけで、

「誰かの手で髪や肌を一方的にいじられる」

「気まぐれで服を脱がされたり、また着せられたりする」

という妄想が好きになりました。そして時には、

「可愛がられてギューッと抱きしめられる」

ところを想像してドキドキしていました。

幼かった私は、その先がどうなるのかは知りませんでした。何か未知のことをされるんだろうな……という予感と、できれば人形になった私のオーナーは男性がいいな……という漠然とした思いはありました。

「人形になっている自分」は、女性にはとても想像しやすいものです。誰かの手で一方的に可愛がられ、ただ感じるだけ、気持ちよくなるだけの至福の時間を、彼女や奥さんにプレゼントしてみませんか。

帰宅すると妻はすでにベッドに入っていた。僕が食べなかった夕食のハンバーグはきちんとラップして冷蔵庫にしまわれている。以前は終電がなくなっても待ってくれていた。

でも優が生まれてから、彩は少しでも睡眠時間を確保しなければならなくなった。

僕もそれがいいと思っている。ダブルベッドの彩の寝息にまじって、ベビーベッドから、木の葉が揺れるくらいのささやかな優の寝息が聞こえる。大切な僕の家族、今の僕のすべてだ。

こうして人はセックスストレスになっていくのかな。

疲れている彩を起こすよりは、我慢するほうがいいと思うだけなんだけれど。

欲求を分かち合うことと、愛する人をいたわることを両立させるのは、誰にとっても簡単ではないのです。SEXと愛情を二つに分けないように気をつけることは、とても大切です。

「心だけ夫婦、体は別」でも、まだ若さがあり子供の成育など二人で抱える課題があるうちはいいでしょう。でも、年をとり、二人きりになり、どちらかがどちらかの介護をしなくてはならなくなった時、何年も何十年も親しんでいなかったパートナーの肉体と直面して、心豊かな老後や終末を迎えられるのかは疑問です。

出産から子育ての時期、女性はとても疲れています。とは言っても、性欲がないわけではありません。むしろ、分娩を経た子宮を元通りに収縮させるために、活発なホルモン分泌が行われています。

若い肉体から、豊熟した肉体に静かに変貌していく時期でもあるのです。そんな奥さんの体の変化を慈しむためにセックスを再開しましょう。

出産、子育て期以外にも女性は生理の周期や疲労によってホルモンのバランスを大きく変化させることがあります。そんな時もSEXを避けるばかりではなく、女性をいたわりながら愛するプレイを試してみてもいいでしょうか。そこで「人形プレイ」の出番です。

シャワーを浴び、寝室に戻る。スプリングを激しく沈ませないように、静かに彩の隣に横になった。

薄いTシャツ一枚の胸が穏やかな波のようにゆったり上下している。そっと手を載せて、触れるか触れ

ないかの感触で乳首を刺激すると、
たちまち固くすぼまった。

前もこんなだったかな。毎日、
優にお乳を吸われて敏感になっ
ているのかも知れない。

こんどはTシャツの下に手を滑
りこませる。ボディソープの香り
と、微かに母乳の匂いがふんわり
とこぼれ出る。このバストは優の
ものなのに、僕はこんな夜中にそ
れを盗もうとしている、と考えた
ら勃起してしまった。

「あ……お帰りなさい。どうした
の?」

彩が目を覚まし、起き上がろう

とした。僕が体を愛撫しているので、ちょっと驚いているみたいだ。

「しーっ、そのまま寝てて」

「えっ……」

「僕が勝手にやってるだけだから、眠っていいよ。人形みたいに」

彩はまだ質問したそうだったが、僕に言われてもう一度目を閉じた。まだ眠気が覚めな
いのだろう。

でも僕は本当に彩が人形であるかのように淡々と作業を進める。

SEXに必要な手順や手続きなしに、見たいところを見て、触れたいところに手を入れる
のだ、と思ったら、見慣れているはずの彩の体を前にして童貞のように興奮してきた。



パンティを下ろしても、彩はほんとうに身じろぎもしない。人形のつもりだ。

わざと犬のように乱暴に茂みに鼻面を突っ込む。「豆を炒っているような幸せな匂いに僕は包まれる。久しく嗅いでいなかった彩の香りだ。僕の鼻骨がクリトリスに当たって、彩が息を乱す。

「あふっ……」

「人形はそんな声出さないでしょ。優が起きちゃうよ」

声を殺して彩がうなずく。それと同時にトロトロの熱い蜜が僕の指にこぼれてきた。彩も感じてくれているんだ。僕は意を強くして彩の蜜の渦に侵入していった。

日常のSEXでは、お互いにいろんな気遣いをし、そのほとんどが「いつもの手順」として習慣化しています。それが二人にとって安心し、リラックスできるプロセスとなっているので、なかなか変えようとは思わないのが人間です。

しかし、たとえば男性がAVを見る、女性がレディコミやケータイ小説を読む、その中で、

「こんなエッチもあつたんだ……」

「こんなことされたら（したら）いいだろうな！」

と思うことがあります。それをそのままパートナーに伝えて試す人は意外に少なく、心の内に妄想として溜め込む人がほとんどです。

「いきなり妄想の話をしたら引かれちゃうんじゃないかな」

「変態って言われるかも知れない」

と、関係が悪化するのを恐れ、大切な人にはエッチの願望を伝えなくて妄想のまま終わらせてしまうのです。その結果、刺激のない馴れ合いのSEXがつまらなくなつて、せつかく愛し合っているパートナーとセックスレスに陥っていくのです。

この悪循環をどこかで変えていきましょう。

誰のために？

愛する人とあなた自身のためにです……！

「ああつ、そんな……」

前戯なしにいきなり挿入されて彩は声を漏らした。

「かわいそうだね。前戯もなしに入れられて。でも、人形だから平気だよね？」

「うう……うん……」

僕は彩の足首を持って左右に思いっきり開かせた。中心部分が丸見えだ。

「やつ……恥ずかしい」

「何で？ 人形でしょ？」

彩は声を忍ぶように人差し指を噛んで、恥ずかしさをこらえていた。可愛い。乱れはじめた自分にとまどつて、必死で抑制している彩を見ていたら、いつになくDSな気分になってきた。

「人形だから……こんなの平気でしょ？」

これから起きることを待っているように、目をつぶってうなずく彩。

「人形だから……濡れたりしないんだよね？」

ズブチュ……！！

と音を立てて、僕はペニスを彩の奥に突っ込む。彩は顔を赤くする。

「すごい音……優君、起きちゃうよ。ママ何やってるのって言われちゃうよ？」

「ああん……」

女性の反応がよければどんどん言葉責めをしていきます。

基本的に女性は文章に興奮しますし、言葉責めが好きです。言葉で高めていくプレイが失敗するのは、

①ステレオタイプなありきたりのトーク、どこかで見かけたDSっぽいセリフ

②今、自分の体が置かれている状況とあまりにかけ離れたこと

などを言われて女性が冷めてしまったときです。

意味もなくオラオラ系のように怒鳴り散らしたり、いきなり「ここはお城だよ……」と飛躍したりすると、女性は一気に白けてしまうんですね。

妄想プレイには常にそうなるリスクはあります。大事なものは、妄想と現実をどこでリンクさせていくかということです。フィクションは「人形」のひとことだけにして、目の前の彼女の状態や反応を「人形」のそれに置き換えて言葉で描写していきます。

僕はわざと強くペニスを打ち込んで、彩のオマ○コに卑猥な音を立てさせた。

「あー、変な音がする。この人形、壊れてるんじゃないの？ ねえ？」

「あつ、あん……壊れちゃう……壊れちゃう……！」

「いいよね、僕の人形だもんね。僕が壊しちゃってもいいよね？」

「いい、いい、壊しても、いいーっ！」

優を起こさないように、僕は彩の口を手でふさいだ。叫びたくても叫べなくされた彩は、大きく目を見開いて僕を見つめている。

低い声で、彩の耳元にささやく。

「ほら、壊れちゃえよ、もつともつと……!! もつとだよ……！」

Vの字に開かれた脚を爪先まで突っぱらせ、オマ○コを僕に押しつけるようにして彩はイッた。

久しぶりのエクスタシーに彩は深い息をついて、僕の首にしがみつくと、子供のようにそのまま眠りに落ちてしまった。

せっかくの深い眠りに落ちた彩を起こさないように、僕は彩の寝顔とむき出しのままの乳房を見下ろしながら自分で精を搾った。

明日はもっと早く帰ってこよう。また、彩と人形プレイを楽しみたい。

こんどは人形になった彩の中に思いきり射精しよう。

愛情あるSEXには、

「自分も感じさせてもらうのだから、相手のことも感じさせてあげないといけない」

と思うあまり、自分自身の快感を半減させてしまったり、イキそうなのにイク直前でUターンさせてしまうことがあります。

「感じるけどイッたことがない」

という女性にくわしく話を聞いてみると、

・感じている自分がみつともなく見えているのではないか。

・相手ももつと気持ちよくなりたいたいにガマンしているのではないか。

などと考えていることが多いのです。性格の優しさや、パートナーに対する愛情がエクスタシーの邪魔をしてしまうんですね。

女性が本気でイクためには、理性が客観的に働いては無理です。我を忘れて、どう思われるかなど考えずに身をゆだねることができれば、女性は必ずイケます。不感症や冷感症は心の状態のことで、イケない体と違うのではないのです。

なかなかイケない女性、イッたことのない女性は、理性を外す鍵が見つからないだけです。その鍵を外すもつとも手軽なテクニクが、二人で妄想を楽しむことなのです。

「何もしなくていいから、感じることに没頭してごらん」というかわりに、

「今夜は人形になって」

と女性を妄想の世界に導くのです。

女性は自分だけが感じるのとは良くないことなのではないか、相手に凶々しいと思われるのではないか、と考
えがちです。この禁忌を消すためには、

「君は人形だから、黙ってされるがままになるんだ」

と、繰り返し言っておあげることが有効です。

——愛し愛される、感じさせ感じる。

それを同時に行おうとすると、相手の快感を優先して人は無理をします。その結果、

「感じさせようとしてくれるのに、イカないのは悪い」

と感じて、イッたフリをする女性もいます。

そんなソーシャルな感情をいったん遮断して体を自由にするために、ぜひ人形プレイを試してみてください。もちろん役柄を交代して楽しむのもOKです。

例文②7 初級編 「僕の好み通りの人形になりなさい」

女性はみんな、好きな人からセクシーだと言われたと思っています。

でも、女性が考えるセクシーな装いは男性に好まれるそれとはちがう、ということがよくあります。

女性が嫌がるのは「セクシーすぎるヤレる、誰でもヤれる」というイメージです。そして、レディ・ガガやマドンナのようなスタイリッシュで美しいセクシユアルな女性になりたいと思っています。

ところが男性は女性に「レディ・ガガみたいになってほしい」とは思っていないんですね。カッコイイと思うことでは勃起は誘われないからです。むしろ野暮ったくてもいいから、

・わかりやすい（赤い口紅やマニキュアとか、体の曲線を強調した服とか）

・男に向けて何かを発信している（同性からは鬢盛を買うようなミニスカートとか、つけまつげとか）

男性がそんな装いにセクシユアルな魅力を感じるということを、女性は意外に知りません。

あなたの人形になる彼女には、あなたの好きな下着やストッキングなどを身につけてもらい、そして心をこ

めて褒めましょう。

好きな人の着せ替え人形になって、ふだんとちがう自分の姿を知るのは女性も楽しいはずです。

「ね、これ短くない？」

鏡の中の自分を見ながら、里咲はさつきから何度も同じことを聞いてくる。

「短くないよ」

と、俺は言う。きちんと立てば黒いミニのタイトスカートだ。

でも、ちよつとでも屈もうものなら、赤いガーターベルトが見えてしまう。

ガーターストッキングは黒で、赤いガーター吊りとの対比がすごくエロい。

「連はこういうの好きなの？」

「好きだよ」

「私、あんまり好きじゃないんだけど……」

「里咲は俺の着せ替え人形だから、好きじゃなくても着るの」

髪にキスすると、里咲は鏡ごしにちよつと微笑んだ。

白いシャツブラウスはシンプルに見えて、微かに乳首が透けてこれまたエロいのだ。

今すぐにもベッドに押し倒して、ガーターからのぞく太ももにキスをしてガンガン突きたいんだが、俺は

ガマンしていた。なぜならもうすぐピザが届くからだ。

俺がこっそりスマホでピザを注文していたことを、里咲は知らない。

「あれっ、何か来た」

玄関の様子を見に行った里咲があわてて戻ってきた。

「連、ピザ頼んだの？ もらってきて」

「ダメだよ、里咲が行くんだよ。僕の人数でしょ、行きなさい」

長く付き合っているカップルなら、こんなプレイで冒険することもできると思います。

全裸などを他人に見せることは、悪くすれば猥褻物陳列罪になりますから、セクシーなスタイルぐらいにとどめておきましょう。それでも充分、女性は興奮します。

このプレイは女性の家でやっつてはいけません。事後の安全を考えて、必ず男性の家で行うようにしましょう。

里咲は俺に背中を押されて、イヤイヤしながら玄関に出て行った。

「すみません……」

ピザを受け取る里咲の声が、少し震えてた。

「配達の人、めっちゃ見たよ……」

里咲は真っ赤になって戻ってきた。何だかいじらしい。

「見せてあげたんだから、いいんだよ。里咲は俺の人形でしょ。ほかの人にもどんどん見せるよ」

「えええ〜」



里咲はもう、泣きそうな顔だ。

「でも、里咲、ガーター好きでしょ？ ちゃんと見せてあげた？」

ソファに腰を下ろすとミニスカートが上がってガーターが丸見えになった。アツアツのピザを放置して、俺は先に里咲を食べる。

このぐらいなら、お遊びとして許される範囲でしょう。

配達の方は仕事で来ているので、迷惑をかけるようなことや、プレイを手伝わせるようなことは慎みましょう。また、女性が配達に来る場合もあるので、くれぐれも気をつけて。プレイを楽しみたい人の自由は、それを見たくない人・したくない人の自由に常に道を譲らなければいけないと思います。

例文②⑧ 中級編「僕の人形をみんなに自慢したいんだ」

ただ思い通りの格好をさせるだけの人形プレイ（入門）では広がりがありませんが、ちょっとだけ他人に見せること（初級）ではかなりドキドキ、スリリングなプレイになりました。

人形プレイでは「鑑賞する」ということが重要な鍵になります。

第六章の犬プレイと似ているようにでいて、大きく違うのはその点です。いろいろな不測の事態に繋がらないように注意して、見せる範囲を少し広げてみることもできます。

次にチャレンジしたいのは、彼女の写真を撮ることです。コスプレや拘束姿の美しい写真を撮ってあげれば、彼女もどんどん人形プレイが好きになるでしょう。

手軽なスマホ等で美しい写真を撮るコツはいくつかあります。

・基本的に光量は足りないので、部屋の照明はフルにつける。

- ・白いシーツをレフ板がわりに床などに広げる。
- ・暗すぎるときは画面のあちこちをタップすると、明るく撮れるところが見つかることがある。
- ・画角の四隅はデッサンが狂うので、顔やボディを端に持つてくるときは注意する。
- ・一眼レフに比べてコントラストが甘いので画像編集ソフトで調整する。
- ・なるべく女性の携帯やスマホで撮影する。

最後の一行は本当に余計な心配、杞憂なのですが、将来もし交際をやめたときに、男性側に画像や映像があるのは女性にとって不安なものです。女性のカメラで撮るからと提案したほうがOKが得られやすいと思います。美しい写真をたくさん撮ってあげればだんだん信頼してくれるようになりますし、いい表情を見せてくれるようになります。

さらに進んだ段階として、雑誌などに投稿するという楽しみ方もあります。投稿には雑誌社でルールを定めていて、三和出版の場合ですと、

- ・被写体の了承を得ていること
- ・十八歳未満または高校生以下の人物を撮影したものは絶対に不可
- ・盗撮など、法に触れる行為による写真・ビデオは禁止

という三点を絶対に守らなければなりません。

何度か『マニア倶楽部』に投稿してくれているご夫婦に電話取材したことがあります。皆さんとても仲の良いご夫妻でした。パートナーの良い表情を（顔には目線を入れていても、感じていることは体の表情からわかります）大勢の人に見てほしい、という愛情から投稿しておられることが伝わってきました。

女性にとっては投稿はハードルの高い行為ですが、パートナーが自分をみんなに自慢したいと思ってくれている！ というのはうれしいことです。

エッチをともししているパートナーが撮ってくれた写真には、彼だけが知るあなたの良いところ、美しいところがたくさん表現されているはずですよ。

また、コスプレや監禁など、あなたの妄想のシチュエーションを撮ってもらうのも楽しいと思います。好きな人と二人で演出を考えた写真は、貴重な愛情の記録となるでしょう。

例文②9 上級編「皆さんに僕の人形を貸し出します……」

人形プレイの難易度MAXは貸し出しプレイではないでしょうか。

これはほかの章にも言えることですが、上級編までクリアすることがいいこと、目指すべき、というわけではありません。二人とも夢中になれるプレイが見つかり、ずっとそれを愉しめれば、それでいいと思います。中には取り返しのつかないプレイもあるからで、貸し出しプレイはまさにそれです。

時間的な制約や安全面の問題もあるため、現実の貸し出しプレイは限られた時間の中で行われることがほとんどです。雑誌の写真投稿欄にプレイ写真を送ってくる方の中には、パートナーを単独男性に貸し出すプレイを愉しんでいる人が見受けられます。

ゆうべはあんまり眠れなかった。

ついにこの日が来てしまったか、という感じで。順ちゃんもあまり眠れなかったと言って笑った。

いつも私の写真を投稿しているネットサイトに彼が出した掲示板――、

「いつも妻の写真をご覧いただき、ありがとうございます。こんど、妻を県北のある公園にノーパン・ノーブラ、シースルーのシャツで連れて行きます。妻は野外プレイにハマってしまい、いつもコメントをくださる皆さんと刺激的な時間を過ごしたいと希望しております……」

これだけ読むと、ものすごくアブノーマルなプレイが好きで、SEXに積極的な女性みたい？

現実にはちがうのに。何もできない私を見て、皆さんガツカリするんじゃないかな、と思ったよ……。

このお二人は投稿歴一年のご夫婦です。実話を私のほうで多少脚色させていただきました。ご主人は四十歳、奥様は三十二歳でお子様もいらっしやいます。ご主人のご両親と同居で、投稿写真を撮るような日はお子様をご両親にあずけて、隣のラブホテルや森林公園まで出かけるとのことでした。

見知らぬ人の前で羞じらい、緊張しながらも、やさしくしてほしそうに笑顔を作る奥様を観察するのは、何より興奮するとご主人は言います。寝盗られプレイに通じる興奮があるのかも知れません。

こんな企画、私は実現しないと思ってた。私みたいな普通のおばさんと実際に会ってみたいなんて思う人、いるわけじゃないでしょうって順ちゃんにも言ってた。

ところが五十通ぐらい応募があつて、順ちゃんは選ぶのが大変だったと言ってた。

コメントが一言だけの人、冷やかしてみたいな人、住所・本名を明かさないう人、を除外したら、最終的に四名になっていた。一ヶ月以上、メールと電話でやりとりしてみた。

その四名にだけ、順ちゃんが待ち合わせ場所をメールした。四人ぐらいがいい、あまり人数が多いと収拾がつかなくなりそうで怖い、と順ちゃんは言ってた。

ネットや雑誌で「単独男性募集」という広告を出すと、実際に彼女とプレイしたいという男性が応募してきます。その中から本当に彼女に会わせて大丈夫な男性を選ぶのは、彼氏もしくは旦那さんの役目です。

大切な彼女や奥さんを不快な目に遭わせないよう、選ぶときにはとことん細心の注意を払いましょう。

「大丈夫そうな人」「たぶん大丈夫な人」は呼んではいけない人です。

- ・一言だけのメール、逆に長々と自分の妄想ばかり書いてくるようなメールを送ってくる人は不可。
- ・彼氏やご主人がどこまで関与するのか、しつこく聞いてくる人は不可。
- ・本名、住所、携帯番号、メールアドレスを明かせない人は不可。

- ・メールだけでなく必ず電話で話をして、明るい人物かどうか確認すること。
- ・写真や動画の撮影は絶対にしない、と約束してもらおう。
- ・事前に伝えるのはだいたいの待ち合わせ場所、詳しい場所は当日連絡すること。
- ・迷惑行為をする人がいたら中止する、場合によっては警察を呼ぶこともある、と警告しておくこと。

これぐらいの用心は必ずしましょう。これでも足りないぐらいです。「疑ってばかりいては失礼かも」などと考えるはいけません。現地で不測の事故が起きたら、全員がいやな思いをするのです。そうならないためには、誰であつてもあつさり信頼してはいけません。

順ちゃんの運転で森林公園に着く。ここは前にもちよつと露出っぽい撮影に来たところだ。

サイクリングとアスレチックコースはお子さんが多いので、人気のない雑木林のほうに行く。

丸太を二つに切ったベンチに男の人が四人腰掛けている。すぐに「あの人たちだ……」とわかる。

みんなニコニコしながら私を見る。

もつと猥褻な雰囲気を想像していたので、少しだけ安心した。緊張してしまつて笑えないと思つていたのに、主人に背中を押されて彼らの前に立つと、自然に微笑むような感じになつていた。

「かわいい〜」

と、誰かが言ってくれたからかも知れない。

みんなの目が私の胸や太ももを見ているのを感じる。

スケスケのシャツに膝上25センチのミニ、森林公園でこんな格好の人はいない。

「痴女みたいで恥ずかしい」って順ちゃんに言つただけど、

「真由は僕のお人形だから、僕が着せたいものを着るんだよ」って……。

場の雰囲気を和やかにするのもトゲトゲしくするのも、ご主人次第です。最初に一人一人と目を見て挨拶しましょう。それだけでも、人は悪い気を起こしにくくなるものです。

おかしな人が混じっていたら迷わず警察を呼ぶつもりでいましょう。また、奥様が助けてほしいときのサインも決めておきます。ご主人から見えない角度で望まないことが進行している場合もあるからです。

ご主人の役目は安全を確保すること、奥様が何も考えずにプレイに没頭できるように細心の注意を払いましょう。

砂利道なのに、ピンヒールでグラグラしながらみんなの前に立った。

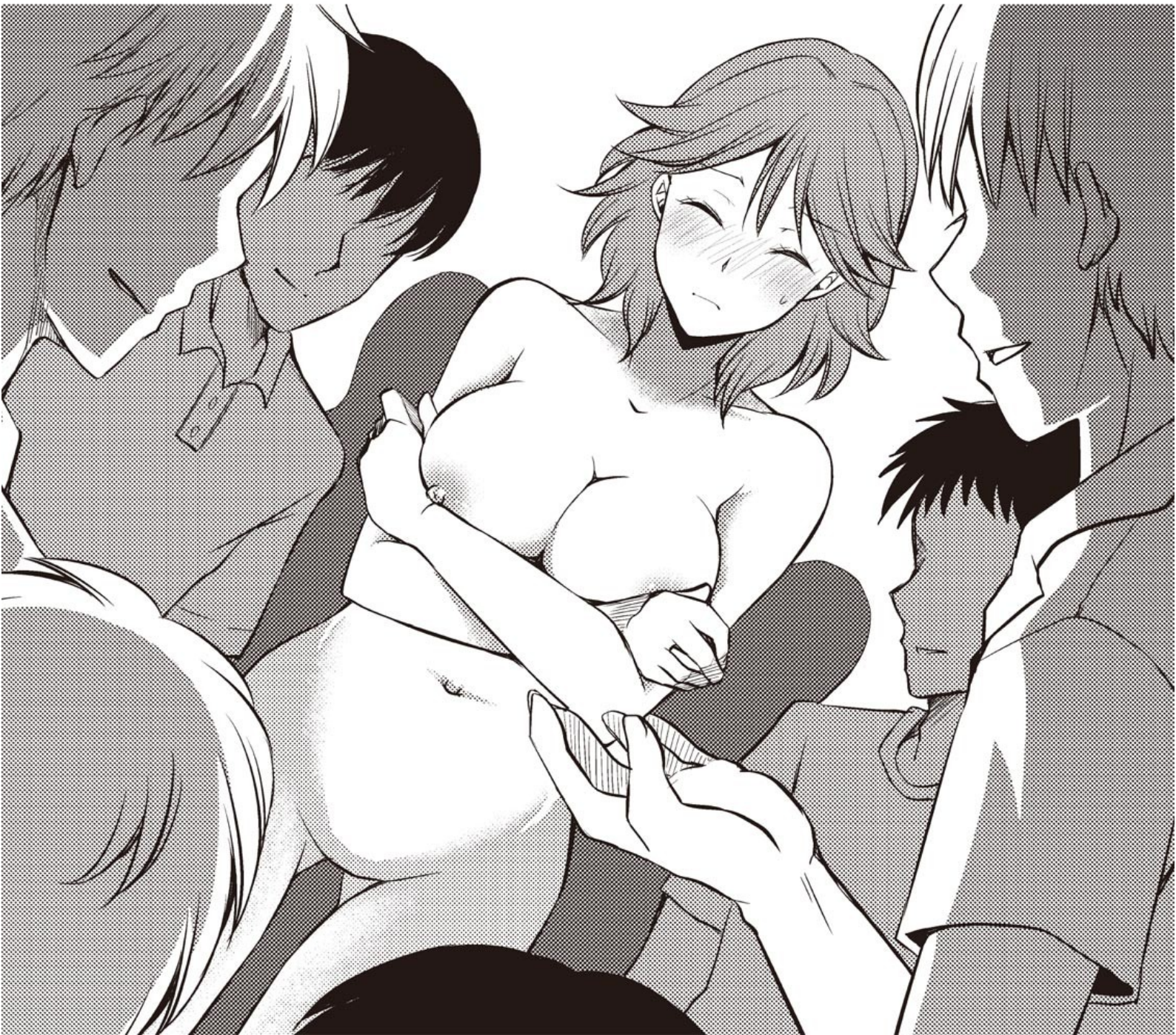
「初めまして、順の妻の真由です……」

と挨拶すると、「おおーっ」と笑顔で拍手してくれる。町内会かPTAの行事で自己紹介したときのような、和やかな感じ。

「今日は……いつもの投稿撮影を……皆さんにお手伝いしていただきたくて……よろしく願います」

順ちゃんが考えたご挨拶を、つつかえつつかえ言う。また拍手。皆さん、ニコニコして見守ってくれているけれど、それにしても恥ずかしすぎる。

「じゃあ……そろそろ始めましょうか」
カメラを持った順ちゃんがしゃがんで、



ゆっくりと位置を変えながら私の顔や全身を撮り始める。皆さんは興味深そうに、順ちゃんがサムネイルを確認しているのを覗きこんでいる。

「奥さん、若いですねえ」

「脚、長いなあ」

いつも順ちゃんと二人で撮るときと同じなのに、皆さんが見ているのでドキドキがはんばない。

「じゃあ、真由、ベンチに座ろうか。皆さん、真由を囲む感じで……あつ、いいですね」

こんどは全員が一枚に写りこむ。

「思い思いに……真由に手を伸ばしてもらえますか？ そう、凄くいいです」

肩、胸、腕……に四人の男性の手が伸びる。こんな状況、生まれて初めて……。どうしよう？

「真由、脚を開いて。すみません、太ももにも手を置いてもらっていいですか？」

左右の太ももに、それぞれ別の男性の手が置かれる。皆さん、ちょっと遠慮しているような感じでも、順ちゃんが、

「どうぞ遠慮なく、左右に開いちゃってください」

と言うと、ちょっと笑いがあって、それから左右に思いっきり開かれた。ミニスカートが目いっぱい上に上がって、ノーパンのアソコが……風にさらされて変な感じ。順ちゃんが何度もシャッターを切る。

「奥さん、本当に穿いてなかったんだ」

「可愛いのに、大胆だなあ」

皆さん優しいんだけど、遠慮なく私のアソコを見ている。……恥ずかしい。

「真由、ニッコリ笑って。私のアソコ、見てくださいって言ってごらん」

そんな痴女みたいなこと、言えない……。言えないよ……。

「ちょっと首をかしげるみたいにして、そう。言ってごらん」

「わ、私の……アソコ……を見てください」

ちよつとだけ、がんばって笑顔を作る。順ちゃんがカメラを向ける。

初対面の男の人の手でスカートをめくられて、ラビアまで開かれて、順ちゃんに写真を撮られてる。これ

が現実だなんて信じられないよ……!

「そう……もつと笑って……そう、いい顔だね」

楽しそうにシャッターを切り続ける順ちゃんの写真を見ながら、真似するように私もだんだん笑顔になっていく。順ちゃんの人形になって、知らないお友達に貸し出されているような、そんな気分になっていく。

これから私、どうなるの……?」

雑誌への投稿なども含めて、他人に彼女を貸し出すプレイは究極の人形プレイでもあります。

子供は大好きな玩具や人形を友達に見せたがり、貸したがりです。……自慢したいのです。自分が手塩にかけて美しく完成させた女性を見て、他の男たちがどんな反応をするか、それが知りたいのです。

「さすがにそこまでは……」と理性では分かっているが、エッチのときの表情や反応も本当は見せたい、自分以外の男が激しく勃起し彼女の魅力に屈服することも知りたい……という妄想もつづります。

最近の投稿写真やアダルトビデオは、そんな「寝取られ」テーマが大人気です。

女性にとっては精神的に負荷のかかるプレイですが、

「大好きな女性を他人に見せびらかす、ちよつとだけ貸してあげる」

「もしかしたら、そのまま返してもらえないかも知れない」

「他人のものになってしまいかも知れない」

というスリリングな妄想を二人で楽しむ心の余裕が持てれば、これほど興奮の高まるプレイはほかにないでしょう。

心の余裕というのは、「相手にとって自分が無二の存在である」という確信のことです。「私は愛されている」という安心と自信が、

「こんな世界をいっしょに楽しめるのは私だけ」

と、アブノーマルなプレイを共有する積極性につながり、女性をいっそう美しくセクシーに輝かせるのです。

妄想の花を、心の温室で育てている 女性はたくさんいるのです。

女の子が抱くいろんな妄想をテーマに、女性に対してどんなトークをしたら、妄想を現実のエッチにして二人で楽しむことができるだろうか、というお話をしてきました。読者の皆さんにお伝えしたかったことは、

「ほんの少し、言葉の選び方やタイミングを考えるだけで、かなり被虐的だったりフェティッシュだったりするエッチでも、女性は関心を持ってくれますよ。やってみたいと思ってくれますよ」ということ、それに尽きます。

最後に少しだけ、私自身のことを書かせてください。

私は人一倍妄想をする子供でした。家庭の環境がちょっと変わっていたこともあり、ほかの子供と日が暮れるまで外で遊ぶ——というような経験がなく、いつも一人で絵を描きながら妄想に耽っていました。

そんな子がいきなり小学校に入っても、周囲の子供たちといっしょに行動できるわけがありません。同い年の子供たちと集団で遊んだ経験がなかったので、ただ黙ってみんなを見ているしかありませんでした。

妄想癖はますますひどくなり、毎夜、布団の中で目をつぶっては、同じクラスの男子に捕まえられて学校のどこかに閉じ込められる自分を想像します。現実には口もきけないのに、彼らにかまわれなくて仕方なかったのでしょう。妄想しないと眠れないのです。少し心を病みかけていたのかも知れません。

知力でも体力でもかなわない男子に捕まえられることを思うと、昼間は学校で一日固まっているしかなかった体の奥が熱くなり、オシッコの穴のあたりが陽だまりのチョコレートのように蕩けだす気がしました。

まだ六歳の頃でした。あまりにいびつな性のめざめだったと思います。

好かれないなら甘えればいいのに、それができない可愛げのない子供でした。大人の膝に抱きついたり、お友達と手をつないだり、そういうやり方を知らない子供でした。

その空っぽの心に飛び込んできたのが、縛られた女性の姿や標本にされて動けない蝶の姿だったのです。自分を圧倒してくれる男性の存在が必要なんだと、男女のことなど何も知らないくせに、思い込んでしまったのです。私を捕まえて縛ったり、展翅板はりつたに磔はりつけにしてくれる男性はどこかにいるだろうか――。

その妄念にとり憑かれてしまった私には、テレビ番組の医療ドラマ『ベン・ケーシー』や時代劇『斬り姫様』は、女が男に屈服する被虐のストーリーにしか見えないのでした。果ては人形ドラマの『サンダーボード』や『ひよっこりひよつたん島』でさえ、女性が捕まったり縛られたりするシーンがほんの一瞬あるだけで、息をつめて興奮して画面を見つめていました。文字通り妄想の虜、妄想しかないう子供だったのです。

自分の興奮の源泉を、男の人に打ち明けたい……。

でも、絶対に言えない。変態だと言われて嫌われるのが怖いから……。

恋愛しても、結婚しても、男の人に妄想を話すことはできませんでした。それをはじめて他人に話したのは、離婚して、もう私がおかしな性癖を持っていてもシヨックを受ける人もいないんだ……と思ってからでした。

緊縛女性を撮影するグループ「緊縛美研究会」に参加して、濡木痴夢男先生と春原悠理さんに妄想を打ち明けて縛ってもらいました。私が人に妄想を打ち明けた最初の日でした。

それがきっかけとなり、私はやがて自分の妄想を文章にする人になったのです。

誰にも見せない妄想の花を、心の温室で密かに育てている女性はたくさんいます。もしかしたら、ほとんどの女性がそうなのではないかと思うこともあります。

この本を開いてくれたあなたに、そんな女性の妄想の世界をやさしくノックしてあげてほしいな――と願います。変態性もふくめて、パートナーを理解してあげてほしいのです。性の秘密を分かちあうことは、何よりも二人を強く結びつけてくれますから……。

子供が宝物を見せっこするように、次はあなたの妄想を見せてくださいね。

それでは、また会う日まで……。



私の妄想、かなえてください…。

～秘かに愉しむ変態セックス入門～

著者：神田つばき

イラスト：蒼井遊美

写真提供：SMグッズのエピキュリアン
<http://www.epism.com/>

発行日❖2014年11月10日

定価❖本体1759円＋税

発行人❖松本裕

編集人❖舟山真雄

発行所❖三和出版株式会社

〒170-8468 東京都豊島区巣鴨4-26-10

営業❖03-5907-7011編集❖03-5907-7015

私の妄想、かなえてください…。

第一章…妄想オナニーが止まらないんです…。
第二章…私の先生になってください。
第三章…私を囚われの姫にしてください。
第四章…私のお兄ちゃんになってください。

第五章…お医者さんになって、私の体を調べてください。
第六章…私の飼い主になってください。
第七章…私をあなたの人形にしてください。



「今、いいなと思っているあの娘に…」
「ちょっとマンネリ化してきたパートナーに…」
女性の本心を知り、アブノーマルへと誘おう！